

---

# 電子書籍交換フォーマット V1.1 仕様書

---

2012年12月18日

電子書籍交換フォーマット標準化会議

## 内容

電子書籍交換フォーマット V1.1 仕様書	1
1 電子書籍交換フォーマットの位置づけ	4
2 本仕様書について	4
2.1 仕様策定の方針	4
2.2 注意	4
2.3 参考とした文書	4
3 電子書籍交換フォーマット概要	5
3.1 コンテンツの構成	5
3.2 コンテンツの記述について	6
3.3 本文データと、スタイルデータの対応	6
3.4 文字コードについて	7
3.5 改行コードについて	7
3.6 記述上の注意	7
3.6.1 XML の仕様に関連するもの	7
3.6.2 CSS の仕様に関連するもの	7
3.6.3 その他の注意	7
3.7 記述方法の制限	8
3.7.1 改行コード	8
3.7.2 詳細度と記述順序	8
3.7.3 簡略化した記述などについて	9
4 タグ（本文データ）一覧	10
4.1 共通	10
4.2 テキスト関連	14
4.3 辞書関連	40
4.4 検索テーブル関連	45
4.5 コミック関連	49
4.6 書誌データ	55
4.7 全体設定データ	63
4.8 目次／部品データ	64
4.9 アニメーション関連データ	68
5 スタイルデータ	69
5.1 スタイルデータ一覧	69
5.2 プロパティ-セレクタ対応表	83
5.3 表の見方	84
6 仕様補足	89
6.1 ブロックタグの動作	89
6.2 スタイルデータの解釈について	89
6.3 フォルダ構成例	90
6.4 ベンダー固有の情報を示す方法	91
6.4.1 専用タグによる方法	91
6.4.2 ネームスペースの使用による方法	92
6.5 文字の大きさ、文字間隔、行間隔を示す値 minimum/ small/ medium/ large/ maximum について	92
6.6 フォントサイズの記述について	92
7 Appendix	93

この仕様は変更される事があります。

7.1	文字の縦横回転について.....	93
7.2	文字コード変換時に注意を要する文字について.....	93
7.2.1	ASCII コードと JIS X 0201 で定義された字形が異なる文字.....	93
7.2.2	Shift_JIS と unicode の変換にあたって、注意を要する文字.....	93
7.3	使用できる色名について.....	94
7.4	交換フォーマット仕様 1.0 からの変更点.....	95
7.4.1	廃止タグ.....	95
7.4.2	追加タグ/スタイルデータ.....	97

この仕様は変更される事があります。

## 1 電子書籍交換フォーマットの位置づけ

本仕様書では、電子書籍交換フォーマットを規定する。

電子書籍交換フォーマットとは、これまで蓄積されていた電子書籍コンテンツの機能を包含しつつ、ターゲットとなる端末に縛られずにコンテンツを長期的に再利用可能とすることを目標とした、電子書籍のためのデータ交換フォーマットである。

電子書籍交換フォーマットは、各種端末やプラットフォーム向けに展開される前の、中間フォーマットとして機能することを主に想定している(図 1 参照)。

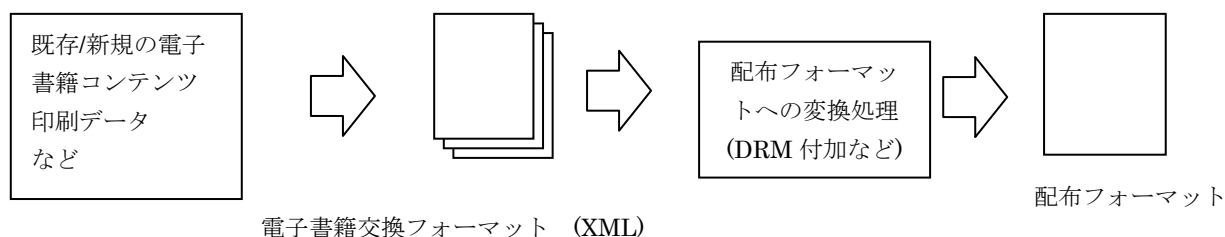


図 1 電子書籍交換フォーマットの位置づけ

## 2 本仕様書について

### 2.1 仕様策定の方針

- 以下の既存フォーマット特有の機能を包含することを目標にした。
  - ドットブック (株式会社ポイジャー)
  - X MDF (シャープ株式会社)
- ただし、いずれにも含まれない機能であっても、将来のニーズを勘案して追加したものがある。
- 内容とスタイルの分離を行い、ターゲットとなる端末に縛られずにコンテンツを長期的に再利用可能とすることを目標とした。
- 本文データの基本的なタグ・属性については、XHTML の記法や仕様を、スタイルデータについては、CSS の記法や仕様を利用した部分がある。

### 2.2 注意

- 本仕様書は、日本語コンテンツを対象とした使用に必要な事柄を中心とした記載になっており(例:7.2文字コード変換時に注意を要する文字について)、多国語化対応のための拡張仕様については、記載されていない項目がある。
- 今後、仕様が変更されることがあり得る。

### 2.3 参考とした文書

本仕様策定にあたっては、主に以下を参考にした。

- <http://www.w3.org/TR/xhtml11/> をはじめとした XHTML 仕様
- <http://dublincore.org/documents/dces/> をはじめとした Dublin Core 仕様
- IEC PT62605 (電子辞書交換フォーマット)仕様

この仕様は変更される事があります。

- ・ CSS Text Level 3 W3C Working Draft 5 October 2010  
http://www.w3.org/TR/2010/WD-css3-text-20101005/
- ・ CSS Writing Modes Module Level 3 Editor's Draft 1 November 2010  
http://dev.w3.org/csswg/css3-writing-modes/

### 3 電子書籍交換フォーマット概要

#### 3.1 コンテンツの構成

- 電子書籍交換フォーマットを構成するデータは、表 1にあるものに大別される。
- 電子書籍交換フォーマットのコンテンツは、XML 形式で記述するものとし、表示のさせ方を指定する場合には、さらにスタイルデータを記述したファイルを用意する必要がある。
- データの種類毎に、表1のとおり定めたルート要素を用いて別のファイルに格納するため、最低限 4 ファイル(スタイルデータを持たない場合)、または5ファイル(スタイルデータを持つ場合)が1つのコンテンツに含まれることになる。なお、スキーマファイルはコンテンツに含める必要はないものとする。
- 目次/部品データを示す xml ファイルのファイル名は package.xml に固定とする。
- 上記以外に、各データから指定されている画像や音声、動画などのデータがあれば、これもコンテンツに含まれる必要がある。
- 各データの記法の詳細については、「4タグ (本文データ) 一覧」および「5.1スタイルデータ一覧」を参照のこと。

表 1 電子書籍交換フォーマットの構成

データの種別	スキーマファイル名	拡張子	ルート要素名	備考	必須
本文データ	eif.xsd xml.xsd	.xml <sup>1</sup>	html	テキスト、辞書、コミック関連タグを含む。 コンテンツの本文データは複数のファイルに分かれても良い。	○
書誌データ	eif.xsd xml.xsd	.xml	bibliography	タイトルや著者などの書誌に関するデータ。	○
全体設定データ	eif.xsd xml.xsd	.xml	global_setting	コンテンツ全体の設定を行う。 スタイルに含まれない、ビューアに関する設定などを主に設定する。	
目次/部品データ	eif.xsd xml.xsd	.xml	package	package.xml にファイル名を固定する。	○
検索テーブル	eif.xsd xml.xsd	.xml	search_table	辞書系コンテンツを記述するときに必要となる、検索テーブルを記述するタグ。	
スタイルデータ		.css		スタイルシートに相当。複数の設定を想定している場合はそれぞれを別のファイルに格納する。	

<sup>1</sup> “.html”や”.htm”ではないので注意する。

### 3.2 コンテンツの記述について

スタイルデータ以外は XML 形式であり、1 行目に XML 宣言を、さらに 2 行目にはデフォルトネームスペースを定義する必要がある。本文データの記述例を図 2 に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<html xmlns="http://ebformat.jp" xmlns:ttime="http://www.voyager.co.jp/ttime"
xmlns:xmdf="http://www.sharp.co.jp/xmdf"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:schemaLocation="http://ebformat.jp
eif.xsd">
<head>
:
</head>
<body>
:
</body>
</html>
```

図 2 本文データの記述例

図 2 の記述例では 2 行目に以下の定義が含まれているが、必須となるのはデフォルトネームスペースの定義のみである。なお、スキーマファイルへの参照については、処理系によっては必要となることがある。

2 行目に含まれる定義	定義内容	必須
xmlns="http://ebformat.jp"	デフォルトネームスペース	○
xmlns:ttime="http://www.voyager.co.jp/ttime"	デフォルトではない ネームスペース	必須で はない
xmlns:xmdf="http://www.sharp.co.jp/xmdf"		
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"		
xsi:schemaLocation="http://ebformat.jp eif.xsd"	スキーマファイルへの参照	

### 3.3 本文データと、スタイルデータの対応

- 交換フォーマットではタグの仕様としては、表示のされ方(スタイル)は定めない。このようなスタイルの記述は、スタイルデータで行われる。
- スタイルデータとの本文データの対応は、本文データ XML に必ず含まれる、<head>タグの子供要素の<link>タグで記述する。記述例を図 3 に示す。詳細については、タグ・プロパティ一覧を参照されたい。
- スタイルデータで使用するプロパティについては「5. 1 スタイルデータ一覧」を、各プロパティを使用可能なセレクタについては、「5. 2 プロパティ・セレクタ対応表」を参照されたい。

```
:
<html>
<head>
<link rel="stylesheet" href="device_0.css" type="text/css" media="screen:size:(640,480),(1024,768)"/>

</head>
:
```

図 3 スタイルデータの指定例

この仕様は変更される事があります。

### 3.4 文字コードについて

- 文字コードについては、通常の XML の記法にしたがって記述する。ただし、これで表現しきれない文字についての記述方法も用意している。(「4タグ(本文データ)一覧」参照)
- encoding (XML 宣言で指定される)は“UTF-8”とする。したがって、電子書籍交換フォーマットの各 XML ファイルは、UTF-8 で記述される必要がある。

### 3.5 改行コードについて

- 改行コードとしては、表 2にあるものはすべて可能とする<sup>2</sup>。

表 2 使用可能な改行コード

改行コード	文字コード表示
CR+ LF	0x0d + 0x0a (2 バイト)
CR	0x0d
LF	0x0a

### 3.6 記述上の注意

#### 3.6.1 XML の仕様に関連するもの

電子書籍交換フォーマットは XML で記述されているため、以下に注意する。

- XML のタグ名は小文字と大文字が区別されるため、仕様書で指定がない限り、タグに大文字は用いない。
- XML の仕様に従い、終了タグは省略できない。終了タグがない空タグの場合も、必ず”/>”で終了する。(図 4 参照)。
- 属性には一重引用符(0x27)または二重引用符(0x22)で囲まれた属性値が必要である(図 4 参照)。
- 異なる属性の間の区切りは、半角スペース(0x20)、タブ(0x09)、CR(0x0d)、LF(0x0a)のいずれかとする。区切り文字の個数は解釈に影響しない。
- 同じタグ内の、属性の順序は解釈に影響しない。

```

```

図 4 タグの記述例

#### 3.6.2 CSS の仕様に関連するもの

- 長さや大きさを表すために、数値に単位をつけることが可能であるが、値が「0」でない場合は単位をつけることを必須とする。

#### 3.6.3 その他の注意

- 本仕様では特にフォルダ構成は定めていないが、異なる環境での再利用のため、個々のファイル名は相対

<sup>2</sup> ただし、「3.7記述方法の制限」も参照のこと。

- パスで記載される必要がある。
- パス名の区切りは”¥”(0x5c) でなく”/”(0x2f) を使用する。
- パス名の区切りを除く、ファイル名に使える文字は、以下のみとする。
  - ・ 半角英小文字および半角英大文字 (a から z, A から Z) …ただし、小文字と大文字を同一視した際に同じになるファイル名を異なるファイルに与えないこととする。
  - ・ 半角数字 (0 から 9)
  - ・ 表 3 に示す半角記号
- 一般に、「4タグ(本文データ)一覧」および「5スタイルデータ」に記載されていない属性や、スタイルシートのプロパティについては、それが XHTML で一般的なものでも使用はできないことに注意する<sup>3</sup>。

- 表 3 ファイル名で使用可能な半角記号

文字	文字コード	備考
ハイフオン	0x2d	
ピリオド	0x2e	
アンダースコア	0x5f	
チルダ	0x7e	
パーセント	0x25	使用が許されない文字の URL エンコーディングのみで用いる。
プラス	0x2b	使用が許されない文字の URL エンコーディングのみで用いる。

### 3.7 記述方法の制限

電子書籍交換フォーマットの対応ツールの制作が必要以上に複雑にならないよう、記述方法に以下の制限を設ける。<sup>4</sup>

※これによってフォーマットが表現可能な機能が制限されるものではない。

#### 3.7.1 改行コード

- 改行コードは、CR + LF または LF のみ改行コードとして認識される。すなわち、CR の 1 バイトだけでは改行コードとしては認識されない<sup>5</sup>。

#### 3.7.2 詳細度と記述順序

スタイルの記述にあたっては、詳細度が高い記述を後に記載すること。

※詳細度は、class 属性の指定\*10+タグ指定の数\*1 で求められる。

例) a {color:red;} …詳細度 1

.class {color:red;} …詳細度 10

a.class {color:red} …詳細度 10 + 1 = 11

したがって、この順序に記載する必要がある<sup>6</sup>。

<sup>3</sup> 電子書籍交換フォーマットを必要以上に複雑にしないための配慮である。

<sup>4</sup> 今後見直すことがある。

<sup>5</sup> 用いた場合の動作については保証されない。

<sup>6</sup> 詳細度が同じ場合は、競合が生じた場合は、後の方の記述が優先される(これは通常のツールにおける CSS の処理と同様)。

この仕様は変更される事があります。



### 3.7.3 簡略化した記述などについて

スタイルの記述については、以下のような簡略化した記述などには対応していない。

(a) 簡略化した記法には対応しない

・カラーコード

NG `color:#fff;`

OK `color:#ffffff;`

・背景色

NG `background: #a0a0a0;`

OK `background-color: #a0a0a0;`

(b) 一括指定には対応しない

・ボーダー

NG `border:5px;`

OK `border-top:5px; border-right:5px; border-bottom:5px; border-left:5px;`

※background、margin、padding、border…などについても同様

(c) まとめた指定には対応しない

NG `. class1, . class2 { color:red; background-color:silver; }`

OK `. class1 { color:red; background-color:silver; }`

`. class2 { color:red; background-color:silver; }`

## 4 タグ（本文データ）一覧

### 凡例

記法	意味	備考
<i>URI</i>	ファイル名／ファイルパス／ネット上のリソースを表す。	
<i>bool</i>	ブール値(true または false)	
<i>colorvalue</i>	色指定	
<i>[n]</i>	整数(0 または 1 以上の整数)	
<i>[i]</i>	整数(マイナス可)	
<i>posnumber</i>	ページ内絶対位置の原点を表す数値(下図も参照)	たとえば、0 だとページ中央が原点であることを示す。

1	2	3
8	0	4
7	6	5

図 5 ページ内絶対位置の原点を表す数値

### 各タグの記載について

- 子供要素を持たない空タグについては、タグ名の後ろに(空タグ)と記載している。
- 各属性について、省略できない場合は[required]、省略可能な場合は[optional]と記載している。

### 「対応」欄の記載について

記載	意味
TTX	TTX に対応するタグなどがあることを示す。ただし表示形態を保証するわけではない。
TTX(代替対応)	TTX に対応するタグなどはないが、他の項目を代替として用いて、似たような表現になるようにしたものであることを示す。
TTX(特殊用途)	TTX に対応するタグなどがあるが、主として過去に作成されたデータの互換用に導入した項目であることを示す。
X MDF	X MDF に対応するタグなどがあることを示す。ただし表示形態を保証するわけではない。
X MDF(代替対応)	X MDF に対応するタグなどはないが、他の項目を代替として用いて、似たような表現になるようにしたものであることを示す。

## 4.1 共通

### タグ : html

文書の最上位要素（ルートタグ）。

この仕様は変更される事があります。

子供要素として配置できる要素：head, body

対応：TTX、XMDF

タグ<html>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**xmlns** [optional]

文書で用いるネームスペースを定義。

対応：XMDF

**xml:lang** [optional]

文書で用いる言語を定義。

対応：XMDF

**タグ：head**

文書情報。<html>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：title, link, pdef, local\_setting, デフォルトネームスペースを持つものとネームスペースを持たないもの以外のタグ

対応：TTX、XMDF

**タグ：title**

文書のタイトル。<head>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：文字データ, external\_char, ruby

対応：TTX、XMDF

**タグ：body**

文書本体。<html>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：文字データ, ブロックレベル要素, インライン要素, オブジェクト要素, search\_table, comic\_cell\_type\_body, comic\_page\_type\_body, dict\_item, ref, split, column, search\_page

対応：TTX、XMDF

タグ<body>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**type** [optional]

文書の種別を示す。

デフォルトは"text"。

対応：XMDF

属性値として下記の値を取る。

"text"

テキスト

対応：XMDF

"search"

検索テーブル

対応：XMDF

"comic"

コミック

対応：XMDF

"dict"

辞書

対応：XMDF

この仕様は変更される事があります。

### **turning\_page\_control** [optional]

ページめくりの際の動作を規定。

対応：TTX（特殊用途）、XMDF

属性値として下記の値を取る。

"on"

前フロー、次フローのどちらのページにも移動できないようにする。

対応：TTX（特殊用途）、XMDF

"off"

前フロー、次フローのどちらのページにも移動できる。

対応：TTX（特殊用途）、XMDF

"forward"

次フローに移動できないようにする。前フローには移動できる。

対応：TTX（特殊用途）、XMDF

"back"

前フローに移動できないようにする。次フローには移動できる。

対応：TTX（特殊用途）、XMDF

"lastpage"

このページが最終ページであることを示す。

最終ページに本属性値をつけることは必須ではない。互換性のために導入している属性値。

対応：TTX（特殊用途）

### **タグ：section**

区切りを示す。<section>タグの記載は、例えば、**part** 属性が"toc"であればその部分が目次であるということを論理的に示しているだけであることに注意されたい。使用方法については使用例も参照。子供要素として配置できる要素：文字データ、ブロックレベル要素、インライン要素、オブジェクト要素

対応：TTX、XMDF

タグ<section>は以下の属性を持つ。

#### **[属性]**

#### **part** [optional]

その部分の意味を示す。

対応：TTX、XMDF

属性値として下記の値を取る。

"toc"

目次

対応：TTX、XMDF

"cover"

表紙

対応：XMDF

この仕様は変更される事があります。

```

<section part = "toc" >
<div level = "1"><a href = ... >はじめに</a></div>
<div level = "1"><a href = ... >第一章</a></div>
<div level = "2"><a href = ... >第1節</a></div>
  :
</section>

```

図 6 <section>タグ記述例

- ・ 子供要素の<div> や<a>は必須というわけではない。  
 <div>の level 属性は、飛び先の見出しのレベルに一致させることを想定しているが (level="2"であれば、飛び先は<H2>というように)、フォーマット仕様としては、<section>タグに子供要素に<a>タグがある場合も、飛び先が<Hn>であることまでは必須としていない。

#### タグ : local\_setting

そのファイル内全体で有効な (ローカル) 設定。<head>の子供要素。

子供要素として配置できる要素 : default\_ccs, page\_progression\_direction, window, proprietary

対応 : XMDF

#### タグ : permission

印刷/コピー等の許可情報。該当するファイルを対象にする場合は、package.xml の<item>の子供要素として記載する。コンテンツ全体を対象にする場合は、<global\_setting>の子供要素として記載する。

子供要素として配置できる要素 : 文字データ, ブロックレベル要素, インライン要素, オブジェクト要素

備考 : TTX は<global\_setting>の子供要素の<permission>には対応するが、<item>の子供要素の<permission>には対応しない。XMDF は<item>の子供要素の<permission>には対応するが、<global\_setting>の子供要素の<permission>には対応しない。

対応 : TTX (特殊用途)、XMDF

タグ<permission>は以下の属性を持つ。

##### [属性]

##### type [required]

許可情報の対象となる操作等

対応 : TTX (特殊用途)、XMDF

属性値として下記の値を取る。

"print"

印刷

対応 : TTX (特殊用途)、XMDF

"copy"

コピー

対応 : TTX (特殊用途)、XMDF

"reading"

読み上げ設定

対応 : TTX (特殊用途)

"export"

この仕様は変更される事があります。

- 書き出し設定  
対応：TTX（特殊用途）
- "download"  
ダウンロード可  
対応：TTX（特殊用途）
- "irda"  
Palm への赤外線通信の可否  
対応：TTX（特殊用途）
- "reading\_on\_ppc"  
PocketPC での読み上げの可否  
対応：TTX（特殊用途）
- "conv\_to\_palm"  
T-Break による palm 出力の可否  
対応：TTX（特殊用途）
- value** [optional]  
コピーの許可に関する属性  
対応：TTX（特殊用途）、XMDF  
属性値として下記の値を取る。
- "authorized"  
正規ユーザの場合のみ許可する。  
対応：TTX、XMDF
- "in\_device\_only"  
正規ユーザの場合、ブコンピューアがインストールされている端末内に限り、使用を許可する。端末外へコピーされないように管理できない端末はコピーをしてはいけない。  
対応：XMDF
- "no"  
正規ユーザであっても許可しない。  
対応：TTX、XMDF

## 4.2 テキスト関連

**タグ**：page\_break（空タグ）

改ページ

子供要素として配置できる要素：なし

対応：TTX、XMDF

タグ<page\_break>は以下の属性を持つ。

### 【属性】

**method** [optional]

改ページの制限。このタグで改ページされた次のページの丁合を指定する。

対応：TTX（特殊用途）

属性値として下記の値を取る。

"normal"

通常

"odd"

奇数ページから開始

対応：TTX（特殊用途）

この仕様は変更される事があります。

"even"

偶数ページから開始  
対応：TTX（特殊用途）

"left"

ページめくり方向にかかわらず左ページから開始

"right"

ページめくり方向にかかわらず右ページから開始

**turning\_page\_control** [optional]

ページめくりの際の動作を規定。  
対応：TTX（特殊用途）、XMDF  
属性値として下記の値を取る。

"on"

このタグの前のデータ、後ろのデータのいずれにも移動できない。  
対応：TTX（特殊用途）、XMDF

"off"

このタグの前のデータ、後ろのデータ、のいずれにも移動できる。  
対応：TTX（特殊用途）、XMDF

"forward"

このタグの後ろのデータに移動できないようにする。前のデータには移動できる。  
対応：TTX（特殊用途）、XMDF

"back"

このタグの前のデータに移動できないようにする。後ろのデータには移動できる。  
対応：TTX（特殊用途）、XMDF

"lastpage"

最終ページ。  
対応：TTX（特殊用途）

**タグ：column\_break**（空タグ）

改段

子供要素として配置できる要素：なし  
対応：TTX

**タグ：br**（空タグ）

改行

子供要素として配置できる要素：なし  
対応：TTX、XMDF  
タグ<br>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**clear** [optional]

画像などに対する文字の回り込みの解除の指定。次の行をその下から表示させる。  
備考：strict では使用できないが、CSS の clear プロパティはブロック要素にしか使えないので、clear 属性を使用した。  
対応：TTX、XMDF  
属性値として下記の値を取る。

"all"

横書きの場合は行の左右両端まで、縦書きの場合は行の上下両端まで、文字列を表示。所まで、空行が挿入される。

この仕様は変更される事があります。

対応：TTX、XMDF

"left"

行の左端（横書きの場合。縦書きの場合は行の上端）から文字列を表示できる所まで、空行が挿入される。

対応：XMDF

"right"

行の右端（横書きの場合。縦書きの場合は行の下端）まで文字列を表示できる所まで、空行が挿入される。

対応：XMDF

## タグ：div

汎用ブロックレベル要素。

子供要素として配置できる要素：文字データ、ブロックレベル要素、インライン要素、オブジェクト要素

対応：TTX、XMDF（代替対応）

タグ<div>は以下の属性を持つ。

### 【属性】

**level** [optional]

ブロックの階層

属性値として下記の値を取る。

数値

## タグ：em

強調。

子供要素として配置できる要素：文字データ、インライン要素、オブジェクト要素, a, offset

対応：TTX、XMDF（代替対応）

## タグ：h1

見出し（レベル1）

子供要素として配置できる要素：文字データ、インライン要素、オブジェクト要素, div

対応：TTX、XMDF（代替対応）

タグ<h1>は以下の属性を持つ。

### 【属性】

**caption** [optional]

柱に表示する文字列

対応：TTX（特殊用途）

属性値として下記の値を取る。

文字列

対応：TTX（特殊用途）

## タグ：h2

見出し（レベル2）

子供要素として配置できる要素：文字データ、インライン要素、オブジェクト要素, div

対応：TTX、XMDF（代替対応）

タグ<h2>は以下の属性を持つ。

### 【属性】

**caption** [optional]

この仕様は変更される事があります。



柱に表示する文字列  
対応：TTX（特殊用途）  
属性値として下記の値を取る。  
文字列  
対応：TTX（特殊用途）

### タグ：h3

見出し（レベル3）  
子供要素として配置できる要素：文字データ、インライン要素、オブジェクト要素、div  
対応：TTX、XMDF（代替対応）  
タグ<h3>は以下の属性を持つ。

#### 【属性】

**caption** [optional]  
柱に表示する文字列  
対応：TTX（特殊用途）  
属性値として下記の値を取る。  
文字列  
対応：TTX（特殊用途）

### タグ：h4

見出し（レベル4）  
子供要素として配置できる要素：文字データ、インライン要素、オブジェクト要素、div  
対応：TTX、XMDF（代替対応）  
タグ<h4>は以下の属性を持つ。

#### 【属性】

**caption** [optional]  
柱に表示する文字列  
対応：TTX（特殊用途）  
属性値として下記の値を取る。  
文字列  
対応：TTX（特殊用途）

### タグ：h5

見出し（レベル5）  
子供要素として配置できる要素：文字データ、インライン要素、オブジェクト要素、div  
対応：TTX、XMDF（代替対応）  
タグ<h5>は以下の属性を持つ。

#### 【属性】

**caption** [optional]  
柱に表示する文字列  
対応：TTX（特殊用途）  
属性値として下記の値を取る。  
文字列  
対応：TTX（特殊用途）

### タグ：h6

見出し（レベル6）

この仕様は変更される事があります。

子供要素として配置できる要素：文字データ、インライン要素、オブジェクト要素、div  
対応：TTX、XMDF（代替対応）  
タグ<h6>は以下の属性を持つ。

**【属性】**

**caption** [optional]

柱に表示する文字列  
対応：TTX（特殊用途）  
属性値として下記の値を取る。  
文字列  
対応：TTX（特殊用途）

**タグ：h7**

見出し（レベル7）  
子供要素として配置できる要素：文字データ、インライン要素、オブジェクト要素、div  
対応：TTX、XMDF（代替対応）  
タグ<h7>は以下の属性を持つ。

**【属性】**

**caption** [optional]

柱に表示する文字列  
対応：TTX（特殊用途）  
属性値として下記の値を取る。  
文字列  
対応：TTX（特殊用途）

**タグ：h8**

見出し（レベル8）  
子供要素として配置できる要素：文字データ、インライン要素、オブジェクト要素、div  
対応：TTX、XMDF（代替対応）  
タグ<h8>は以下の属性を持つ。

**【属性】**

**caption** [optional]

柱に表示する文字列  
対応：TTX（特殊用途）  
属性値として下記の値を取る。  
文字列  
対応：TTX（特殊用途）

**タグ：h9**

見出し（レベル9）  
子供要素として配置できる要素：文字データ、インライン要素、オブジェクト要素、div  
対応：TTX、XMDF（代替対応）  
タグ<h9>は以下の属性を持つ。

**【属性】**

**caption** [optional]

柱に表示する文字列  
対応：TTX（特殊用途）  
属性値として下記の値を取る。

この仕様は変更される事があります。

文字列

対応：TTX（特殊用途）

#### タグ：span

汎用インライン要素。

子供要素として配置できる要素：文字データ、インライン要素、オブジェクト要素

備考：代替文字列を記載するために、<external\_char>の子供要素としても記載可能。

対応：TTX、XMDF（代替対応）

タグ<span>は以下の属性を持つ。

##### 【属性】

##### id [optional]

span で囲まれた文字列の id を設定。

対応：XMDF（代替対応）

##### type [optional]

メディアファイルへの参照を囲んでいるとき、そのメディアファイルのタイプを MIME 形式で指定。

##### lang\_code [optional]

言語コードを指定。デフォルトは"ISO639-2"。

属性値として下記の値を取る。

言語コード

##### xml:lang [optional]

言語を指定。

#### タグ：offset（空タグ）

表示位置のオフセット。スタイルデータのプロパティ text-offset と組み合わせて用いる。

子供要素として配置できる要素：なし

対応：TTX

#### タグ：external\_char

外字の挿入。

子供要素として配置できる要素：span,img

対応：TTX、XMDF

タグ<external\_char>は以下の属性を持つ。

##### 【属性】

##### system [optional]

前提となるコード体系を指定。例："Adobe-Japan-1-6"

対応：TTX、XMDF

##### code [optional]

system で指定したコード体系でのコード

対応：TTX、XMDF

##### glyph\_data [optional]

外字画像（グリフを収めたファイル）を指定。

対応：TTX、XMDF

##### priority [optional]

code と glyph の優先順位を明示的に指定する。code 優先の場合は"code,glyph"、glyph 優先の場合は"glyph,code"とする

対応：TTX

この仕様は変更される事があります。

**alt** [optional]

代替文字列

備考：子供要素に<span>タグや<img>タグを用いて代替文字列を記載することも可能。

対応：TTX、XMDF

代替文字列や代替画像を指定するために、alt 属性や glyph\_data 属性を用いる他、下記のように、<span>タグまたは<img>タグを利用することが可能である。

例1)<span>を用いる例

```
<external_char glyph_data="img/glyph.png">
  <span class=" yoko" >!</span>
</external_char>
~~~
span.yoko { text-combine: horizontal; }
```

例2)<img>を用いる例

```
<external_char glyph_data="img/glyph.png">
  
</external_char>
```

- ・ <external\_char>の子供要素の<img>に指定された属性のうち src 属性以外は書けないものとする。

**タグ：mlg**

割注

子供要素として配置できる要素：文字データ、インライン要素、オブジェクト要素

**タグ：a**

アンカー（リンク）。動作内容は、href、target、ref\_id/ref\_itemid、cmd のいずれかの属性で記述する。

子供要素として配置できる要素：文字データ、a 以外のインライン要素、オブジェクト要素

対応：TTX、XMDF

タグ<a>は以下の属性を持つ。

**【属性】**

**href** [optional]

リンクの指定。

対応：TTX、XMDF

**target** [optional]

ターゲットの指定。

対応：TTX

**id** [optional]

id を指定。（name に相当）

対応：TTX、XMDF

**ref\_itemid** [optional]

参照先のファイル（テキストまたはメディアファイル）の id を指定。参照先がメディアファイルの場合は、そのメディアファイルを再生開始する。

対応：TTX、XMDF

**title** [optional]

この仕様は変更される事があります。

ロールオーバー時にタイトルバーに表示される文字列の指定。

対応：TTX（特殊用途）

**ref\_id** [optional]

参照先の id を指定。

備考：独自追加：移動先の id

対応：TTX、XMDF

**shake** [optional]

クリック時に振動させるか否かを指定。

対応：TTX（特殊用途）

属性値として下記の値を取る。

*bool*

対応：TTX（特殊用途）

**background** [optional]

バックグラウンドで実行させるか否か。

対応：TTX（特殊用途）

属性値として下記の値を取る。

*bool*

対応：TTX（特殊用途）

**cmd** [optional]

実行するプロトコルを指定。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

"appl:"creator

開くアプリケーションのクリエイター

対応：TTX（特殊用途）

"exe:"exename

開くアプリケーションのプロセス名

対応：TTX（特殊用途）

"tel:"電話番号

電話を掛ける。

対応：XMDF

"mailto:"メールアドレス

メーラーを立ち上げる

対応：XMDF

"nexthead"

次章へ

対応：TTX

"prevhead"

前章へ

対応：TTX

"next"

次ページへ

対応：TTX

"prev"

前ページへ

対応：TTX

"top"

この仕様は変更される事があります。

先頭へ  
対応：TTX  
"bottom"  
最後へ  
対応：TTX  
"back"  
戻る  
対応：TTX  
"forward"  
(履歴を)進む  
対応：TTX

- 1) href
- 2) ref\_id / ref\_itemid
- 3) cmd

上記1～3の属性については下記の条件下で組み合わせるものとし、その場合の解釈を記す。

- ・ 1と3、2と3は同じタグ内に書いてもよいが、1と2は、同じタグ内に書いてはいけない。もし書いてある場合は、2が優先される。
- ・ 1と3が競合する、或いは2と3が競合する場合は、3が優先される。  
(競合の例：2と3で異なるページへのジャンプを指定している、など)
  - ・ target属性は、1および2にのみ使えるものとし、3には使用できない。

#### タグ：hr (空タグ)

水平線を表示。

子供要素として配置できる要素：なし

対応：TTX、XMDF

#### タグ：sub

下付文字で表示。

子供要素として配置できる要素：文字データ、インライン要素、オブジェクト要素

対応：TTX (代替対応)

#### タグ：sup

上付文字で表示。

子供要素として配置できる要素：文字データ、インライン要素、オブジェクト要素

対応：TTX (代替対応)

#### タグ：marquee

このタグで囲まれた文字列をテロップ(流れるように見える)で表示。

子供要素として配置できる要素：文字データ, external\_char, ruby, オブジェクト要素, span

対応：XMDF

#### タグ：table

表を作成。

子供要素として配置できる要素：tr

#### タグ：th

この仕様は変更される事があります。

表に見出しをつける。<tr>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：文字データ、インライン要素、オブジェクト要素

タグ<th>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**rowspan** [optional]

下方向の連結セル数を指定。

属性値として下記の値を取る。

*[n]*

0以上の整数。0を指定すると自身のセルも含めた全ての下方向のセルを連結する。

**colspan** [optional]

右方向の連結セル数を指定。

属性値として下記の値を取る。

*[n]*

0以上の整数。0を指定すると自身のセルも含めた全ての右方向のセルを連結する。

**タグ：tr**

横一行を定義する。<table>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：th, td

**タグ：td**

セルを作る。<tr>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：文字データ、インライン要素、オブジェクト要素

タグ<td>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**rowspan** [optional]

下方向の連結セル数を指定。

属性値として下記の値を取る。

*[n]*

0以上の整数。0を指定すると自身のセルも含めた全ての下方向のセルを連結する。

**colspan** [optional]

右方向の連結セル数を指定。

属性値として下記の値を取る。

*[n]*

0以上の整数。0を指定すると自身のセルも含めた全ての右方向のセルを連結する。

**タグ：img** (空タグ)

画像を指定する。もしくは塗りつぶしを指定する。

子供要素として配置できる要素：なし

備考：IMGの属性で、CSSに置き換えられるものもあるが、align以外はCSSにするのもおかしいので、属性にした。代替文字列を記載するために、<external\_char>の子供要素として記載可能。

対応：TTX、X MDF

タグ<img>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**src** [required]

画像 URI または塗りつぶしを指定する。

対応：TTX、X MDF

属性値として下記の値を取る。

この仕様は変更される事があります。

**URI**

画像を表示させる場合の URI を指定。  
対応：TTX、XMDF（代替対応）

**"paint:"**

塗りつぶしを指定する場合に指定する。  
対応：TTX

**alt** [optional]

代替文字列を指定。  
対応：TTX

**longdesc** [optional]

画像に関する長い説明の参照先を指定。

**width** [optional]

画像を表示する幅を指定。  
対応：TTX  
属性値として下記の値を取る。

*[n]px, [n]%*

対応：TTX

**height** [optional]

画像を表示する高さを指定。  
対応：TTX  
属性値として下記の値を取る。

*[n]px, [n]%*

対応：TTX

**usemap** [optional]

関連付ける画像マップの URI を指定。  
対応：TTX、XMDF（代替対応）

**line** [optional]

画像のサイズを文字サイズ（1以上の整数値）で指定  
対応：TTX

**scale** [optional]

画像サイズをもとのサイズの縮尺で指定  
対応：TTX  
属性値として下記の値を取る。

*[n]%*

対応：TTX

**bordercolor** [optional]

枠線の色  
対応：TTX  
属性値として下記の値を取る。

*colorvalue*

対応：TTX

**border** [optional]

枠線の幅  
対応：TTX  
属性値として下記の値を取る。

*[n]*

対応：TTX

この仕様は変更される事があります。



**hspace** [optional]

水平方向の余白を指定する。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*[n]*

0以上の整数値。

対応：TTX

**vspace** [optional]

垂直方向の余白を指定する。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*[n]*

0以上の整数値。

対応：TTX

**dspace** [optional]

進行方向の余白を、0以上の整数値で指定する。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*[n]*

0以上の整数値。

対応：TTX

**snap** [optional]

フィールドの枠にスナップ

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

"frame"

フィールドの枠にスナップ

対応：TTX

**linemode** [optional]

インライン画像の回り込みのモード指定

対応：TTX、XMDF（代替対応）

属性値として下記の値を取る。

*bool*

対応：TTX、XMDF（代替対応）

**targetplane** [optional]

テキストバッファに描画

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

"text"

テキストバッファに描画

対応：TTX

**drawing** [optional]

タイリング表示

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

"tile"

タイリング表示

この仕様は変更される事があります。

対応：TTX

**color** [optional]

塗りつぶし色の指定

対応：TTX（特殊用途）

属性値として下記の値を取る。

*colorvalue*

対応：TTX（特殊用途）

**opacity** [optional]

塗りつぶし色の透明度の指定

対応：TTX（特殊用途）

属性値として下記の値を取る。

*[n]*

0 から 255 の整数値。

対応：TTX（特殊用途）

**loop** [optional]

アニメーションの繰り返し回数

対応：XMDF

属性値として下記の値を取る。

*[n]*

1 以上の整数値。

対応：XMDF

**start** [optional]

**src** 属性でアニメーションオブジェクトが指定された場合に、そのアニメーションオブジェクトの再生を開始を指示するトリガーを指定する。

対応：XMDF

属性値として下記の値を取る。

"auto"

表示領域に入るごとに、自動的に先頭から再生を開始する。前回の表示時に再生が途中で終わっている場合であっても、必ず先頭から再生されるものとする。

対応：XMDF

"event"

イベントデータの指示に従って再生を開始する。

対応：XMDF

**a** [optional]

画像の表示位置の指定をする場合の原点を設定。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*posNumber*

対応：TTX

**x** [optional]

**a** で指定した原点からの水平方向のオフセット値。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*[n]*

対応：TTX

**y** [optional]

**a** で指定した原点からの垂直方向のオフセット値。

この仕様は変更される事があります。

対応：TTX  
属性値として下記の値を取る。  
*[n]*

対応：TTX

o [optional]

画像の回り込みのモードを指定。  
対応：TTX、XMDF（代替対応）  
属性値として下記の値を取る。

*bool*

対応：TTX、XMDF（代替対応）

**mode** [optional]

ツールボタンと併用した場合のボタン表示モードの指定。  
対応：TTX（特殊用途）  
属性値として下記の値を取る。

*[n]*

対応：TTX（特殊用途）

**shrink** [optional]

画像サイズがページをはみ出す場合の表示方法を指定。  
対応：TTX  
属性値として下記の値を取る。

*screen*

縮小して全体を表示。

対応：TTX

**startpoint** [optional]

縮小されている画像を拡大する際の原点を設定。  
対応：TTX（特殊用途）  
属性値として下記の値を取る。

*posNumber*

対応：TTX（特殊用途）

**preview** [optional]

画像の実寸表示の制御。実寸表示モードを有効にするか否か。  
対応：TTX（特殊用途）  
属性値として下記の値を取る。

*bool*

対応：TTX（特殊用途）

**タグ：pdef**（空タグ）

挿絵の挿入タグ。挿絵にする画像を指定するもしくは、挿絵に塗りつぶしを指定。

子供要素として配置できる要素：なし

備考：<head>...</head>に記述

対応：TTX

タグ<pdef>は以下の属性を持つ。

**【属性】**

**src** [required]

挿絵にする画像もしくは塗りつぶしを指定。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

この仕様は変更される事があります。

**URI**

挿絵にする画像の URI を指定。

対応：TTX

**"paint:"**

挿絵に塗りつぶしを指定。

対応：TTX

**alt** [optional]

代替文字列を指定。

対応：TTX

**id** [required]

画像の ID を指定。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*idnumber*

対応：TTX

**width** [optional]

画像を表示する幅を指定。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*[n]px, [n]%*

対応：TTX

**height** [optional]

画像を表示する高さを指定。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*[n]px, [n]%*

対応：TTX

**usemap** [optional]

関連付ける画像マップの URI

対応：TTX

**bordercolor** [optional]

枠線の色

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*colorvalue*

対応：TTX

**border** [optional]

枠線の幅

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*[n]*

対応：TTX

**hspace** [optional]

水平方向の余白を指定。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*[n]*

この仕様は変更される事があります。

0以上の整数値。

対応：TTX

**vspace** [optional]

垂直方向の余白を指定。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*[n]*

0以上の整数値。

対応：TTX

**color** [optional]

塗りつぶし色の指定

対応：TTX（特殊用途）

属性値として下記の値を取る。

*colorvalue*

対応：TTX（特殊用途）

**opacity** [optional]

塗りつぶし色の透明度の指定

対応：TTX（特殊用途）

属性値として下記の値を取る。

*[n]*

0から255までの整数値。

対応：TTX（特殊用途）

**a** [optional]

画像の表示位置の指定をする場合の原点を指定。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*posNumber*

対応：TTX

**x** [optional]

aで指定した原点からの水平方向のオフセット値。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*[n]*

対応：TTX

**y** [optional]

aで指定した原点からの垂直方向のオフセット値。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*[n]*

対応：TTX

**o** [optional]

画像の回り込みのモード指定。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*bool*

対応：TTX

**mode** [optional]

この仕様は変更される事があります。

ツールボタンと併用した場合のボタン表示

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*[n]*

対応：TTX

**shrink** [optional]

画像サイズがページをはみ出す場合の表示方法を指定。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*screen*

縮小して全体を表示。

対応：TTX

**startpoint** [optional]

縮小されている画像を拡大する際の原点を設定。

対応：TTX (特殊用途)

属性値として下記の値を取る。

*posNumber*

対応：TTX (特殊用途)

**preview** [optional]

画像の実寸表示の制御。実寸表示モードを有効にするか否か。

対応：TTX (特殊用途)

属性値として下記の値を取る。

*bool*

対応：TTX (特殊用途)

**タグ：phead** (空タグ)

pdef で定義した画像の開始位置

子供要素として配置できる要素：なし

対応：TTX

タグ<phead>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**ref\_id** [optional]

pdef で指定した画像の ID を指定。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*idnumber*

対応：TTX

**delay** [optional]

タグのあるページからのページオフセット値。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*0以上の整数値*

省略すると 0

対応：TTX

**タグ：ptail** (空タグ)

pdef で定義した画像の終了位置

この仕様は変更される事があります。

子供要素として配置できる要素：なし

対応：TTX

タグ<ptail>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**ref\_id** [optional]

pdef で指定した画像の ID を指定。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*idnumber*

対応：TTX

**delay** [optional]

タグのあるページからのページオフセット値。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*0以上の整数値*

省略すると 0

対応：TTX

**タグ：area** (空タグ)

画像マップの領域を指定。

子供要素として配置できる要素：なし

備考：動作内容は、href、target、ref\_id/ref\_itemid、type のいずれかで記述する。

対応：TTX、XMDF (代替対応)

タグ<area>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**alt** [optional]

代替して表示するテキスト

対応：TTX

**shape** [optional]

領域の形状を定義。

デフォルトは"poly"。

対応：TTX、XMDF (代替対応)

属性値として下記の値を取る。

"rect"

四角形

対応：TTX、XMDF (代替対応)

"circle"

円形

対応：TTX (代替対応)

"poly"

多角形

対応：TTX (代替対応)、XMDF

"default"

画像全体

対応：TTX、XMDF (代替対応)

**coords** [optional]

領域の座標を指定する。x 座標,y 座標の順で指定する。例：coords="x,y"

この仕様は変更される事があります。

- 対応：TTX、XMDF（代替対応）
- href** [optional]  
リンク先の URI  
対応：TTX、XMDF
- target** [optional]  
ターゲット（表示させるフレームの名前）指定  
対応：TTX
- title** [optional]  
ロールオーバー時にタイトルバーに表示される文字列を指定。  
対応：TTX（特殊用途）
- ref\_itemid** [optional]  
参照先のファイル（テキストまたはメディアファイル）の id を指定。参照先がメディアファイルの場合は、そのメディアファイルを再生開始する。  
対応：TTX、XMDF
- ref\_id** [optional]  
参照先の id を指定。  
備考：独自追加：移動先の id  
対応：TTX、XMDF
- shake** [optional]  
クリック時に振動させるか否か。  
対応：TTX（特殊用途）  
属性値として下記の値を取る。  
*bool*  
対応：TTX（特殊用途）
- background** [optional]  
バックグラウンドで実行させるか否か。  
備考：(T-Time 専用設定)  
対応：TTX（特殊用途）  
属性値として下記の値を取る。  
*bool*  
対応：TTX（特殊用途）
- cmd** [optional]  
プロトコル指定  
備考：独自追加：電話を掛ける、メーカー立ち上げ  
対応：TTX（特殊用途）  
属性値として下記の値を取る。
- "appl:"creator  
開くアプリケーションのクリエイター  
対応：TTX（特殊用途）
- "exe:"exename  
開くアプリケーションのプロセス名  
対応：TTX（特殊用途）
- "tel:"電話番号  
電話を掛ける。  
対応：XMDF
- "mailto:"メールアドレス  
メーカーを立ち上げる

この仕様は変更される事があります。



対応：XMDF  
"nexthead"  
次章へ  
対応：TTX  
"prevhead"  
前章へ  
対応：TTX  
"next"  
次ページへ  
対応：TTX  
"prev"  
前ページへ  
対応：TTX  
"top"  
先頭へ  
対応：TTX  
"bottom"  
最後へ  
対応：TTX  
"back"  
戻る  
対応：TTX  
"forward"  
(履歴を)進む  
対応：TTX

#### タグ：map

画像マップを定義。

子供要素として配置できる要素：ブロックレベル要素, area

対応：TTX、XMDF（代替対応）

タグ<map>は以下の属性を持つ。

##### 【属性】

**name** [optional]

マップ名

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

文字列

対応：TTX

**id** [optional]

マップ ID

対応：TTX、XMDF（代替対応）

属性値として下記の値を取る。

文字列

対応：TTX

**title** [optional]

マップタイトル

対応：TTX

この仕様は変更される事があります。

属性値として下記の値を取る。

文字列

対応：TTX

#### タグ：link (空タグ)

文書の関連付けを定義する。<head>の子要素。

子供要素として配置できる要素：なし

対応：TTX

タグ<link>は以下の属性を持つ。

##### 【属性】

##### rel [optional]

この文書からみた、リンク先の文書との関係を表わす。複数指定してもよい。

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

"stylesheet"

デフォルトで適用されるスタイルシートを表わす。

対応：TTX

"alternate stylesheet"

デフォルトで適用されないスタイルシートを表わす。

##### href [optional]

関連付ける文書の URI (スタイルシートのファイル名など)

対応：TTX

##### type [optional]

MIME タイプ

備考："text/css"のみ可能

対応：TTX

##### media [optional]

出力の対象として想定しているメディア。screen の場合は続けて、画面サイズと色数が指定できる。

#### タグ：ruby

ルビ

子供要素として配置できる要素：次の組み合わせかつ出現順のいずれか。(rb , rt) 、(rb, rp, rt, rp)、(rbc, rtc)または(rbc, rp, rtc, rp)

対応：TTX、XMDF

#### タグ：rb

ルビを振られるテキスト

子供要素として配置できる要素：文字データ、インライン要素、オブジェクト要素

対応：TTX、XMDF

#### タグ：rt

ルビのテキスト

子供要素として配置できる要素：文字データ、インライン要素、オブジェクト要素

対応：TTX、XMDF

#### タグ：rbc

この仕様は変更される事があります。

被ルビ文字 (rb をまとめて囲む)  
子供要素として配置できる要素 : rb  
対応 : TTX

#### タグ : rtc

読み (rt をまとめて囲む)  
子供要素として配置できる要素 : rt  
対応 : TTX

#### タグ : rp

代替文字用かっこの指定  
子供要素として配置できる要素 : 文字データ, external\_char  
備考 : 記述例) <ruby><rb><rb> 被 </rb><rb> ル </rb><rb> ビ </rb><rb> 文 </rb><rb> 字  
</rb></rb><rp> ( </rp><rtc><rt> ひ </rt><rt> る </rt><rt> び </rt><rt> も </rt><rt> じ  
</rt></rtc><rp> ) </rp></ruby><ruby><rb> 漢字 </rb><rp> ( </rp><rt> かんじ </rt><rp> )  
</rp></ruby>  
対応 : TTX

```
<ruby><rb>漢字</rb><rp> (</rp><rt>かんじ</rt><rp>) </rp></ruby>  
<ruby><rb> 漢 字 </rb><rp> ( </rp><rtc><rt> か ん </rt><rt> じ  
</rt></rtc><rp> ) </rp></ruby>
```

補足 : 仕様策定にあたっては、以下のような考え方を取っている。

- ・ モノルビ/グルーブルビについて、記述方法で区別する必要はない。
- ・ 熟語ルビは、ルビ文字列に区切りを入れることができればよい
- ・ 電子書籍交換フォーマットとしては、あえて<rp>を残した。(配信用フォーマットに変換する際に、通常は変換されることを想定している。)
- ・ <rp>を使わずに、ルビ内に括弧が使われることもあり得る。

#### タグ : audio (空タグ)

音声データを再生  
子供要素として配置できる要素 : なし  
備考 : HTML5 準拠  
対応 : XMDF (代替対応)  
タグ<audio>は以下の属性を持つ。

##### [属性]

**src** [optional]

音声データのファイル名

対応 : XMDF (代替対応)

#### タグ : video (空タグ)

動画データを再生  
子供要素として配置できる要素 : なし  
備考 : HTML5 準拠  
対応 : XMDF (代替対応)  
タグ<video>は以下の属性を持つ。

##### [属性]

この仕様は変更される事があります。

**src** [optional]

動画データのファイル名

対応：XMDF（代替対応）

**タグ：action**（空タグ）

フロー間のページめくりの制御

子供要素として配置できる要素：なし

対応：TTX（特殊用途）

タグ<action>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**onopen** [optional]

ページが開いたときに実行するファイルの指定

対応：TTX（特殊用途）

属性値として下記の値を取る。

*URI*

対応：TTX（特殊用途）

**onclose** [optional]

ページが閉じたときに実行するファイルの指定

対応：TTX（特殊用途）

属性値として下記の値を取る。

*URI*

対応：TTX（特殊用途）

**background** [optional]

バックグラウンドで実行する

対応：TTX（特殊用途）

属性値として下記の値を取る。

*bool*

対応：TTX（特殊用途）

**cmd** [optional]

プロトコル指定

備考：独自追加：電話を掛ける、メーカー立ち上げ

対応：TTX（特殊用途）

属性値として下記の値を取る。

"appl:"creator

開くアプリケーションのクリエイター

対応：TTX（特殊用途）

"exe:"exename

開くアプリケーションのプロセス名

対応：TTX（特殊用途）

"tel:"電話番号

電話を掛ける。

対応：TTX（特殊用途）、XMDF

"mailto:"メールアドレス

メーカーを立ち上げる

対応：TTX（特殊用途）、XMDF

"nexthead"

次章へ

この仕様は変更される事があります。

対応：TTX（特殊用途）  
"prevhead"  
前章へ  
対応：TTX（特殊用途）  
"next"  
次ページへ  
対応：TTX（特殊用途）  
"prev"  
前ページへ  
対応：TTX（特殊用途）  
"top"  
先頭へ  
対応：TTX（特殊用途）  
"bottom"  
最後へ  
対応：TTX（特殊用途）  
"back"  
戻る  
対応：TTX（特殊用途）  
"forward"  
（履歴を）進む  
対応：TTX（特殊用途）

#### タグ：case/nocase

環境依存の動作（<case>は～であるとき。<nocase>は～でないとき。）

子供要素として配置できる要素：文字データ、ブロックレベル要素、インライン要素、オブジェクト要素

備考：<case>～</case><nocase>～</nocase>で選択動作の対象にしたい部分を囲む

対応：TTX

タグ<case/nocase>は以下の属性を持つ。

##### [属性]

**dir** [optional]

縦書き/横書き

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

"vertical"

縦書き

対応：TTX

"horizontal"

横書き

対応：TTX

**cpu** [optional]

CPU

対応：TTX（特殊用途）

属性値として下記の値を取る。

CPU名

条件分岐させる CPU 名を記載。（例）"ppc", "68k", "x86"

この仕様は変更される事があります。

対応：TTX（特殊用途）

**os** [optional]

OS

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

*OS名*

条件分岐させる OS 名を記載。（例）"mac", "win32", "ios", "android"

対応：TTX

**screen** [optional]

ウィンドウ

対応：TTX

属性値として下記の値を取る。

"pda"

ウィンドウサイズの短辺が 320 ピクセル以下

対応：TTX

"portrait"

ウィンドウの比率が縦長（正方形の場合にも真）

対応：TTX

"landscape"

ウィンドウの比率が横長

対応：TTX

## タグ：mask

<mask>タグで挟まれた文字列もしくは指定した文字列をクリックする度に、マスクをかけたりマスクを外したり出来るようにする。

子供要素として配置できる要素：文字データ、インライン要素、オブジェクト要素

対応：XMDF

タグ<mask>は以下の属性を持つ。

### 【属性】

**initial\_flag** [optional]

初期状態を設定。

対応：XMDF

属性値として下記の値を取る。

"on"

マスクをかけた状態を初期状態とする。

対応：XMDF

"off"

マスクを外した状態を初期状態とする。

対応：XMDF

**trigger\_id** [optional]

切り替えるトリガ。複数「,」で区切って指定可能。

対応：XMDF

**id** [optional]

文字列 ID

対応：XMDF

属性値として下記の値を取る。

*文字列*

この仕様は変更される事があります。

対応：XMDF

**mask\_type** [optional]

マスク方法を指定する。下記の属性値のいずれかを指定可能。

対応：XMDF

属性値として下記の値を取る。

"default"

ビューアのデフォルトの方式でマスク処理する。

対応：XMDF

"color"

文字色と背景色を **color** 属性で指定された色に設定する。**color** 属性が省略された場合は、**color** 属性の省略時の値をマスクの色とする。

対応：XMDF

**hold\_flag** [optional]

マスクの ON.OFF 状態の保存方法を指定

対応：XMDF

属性値として下記の値を取る。

"scope"

このテキストオブジェクト実体の表示が終わるまでマスク状態を保存しておく。

対応：XMDF

"on\_power"

書籍を閉じるまでマスク状態を保持しておく。

対応：XMDF

"save"

書籍を閉じる時に、現在のマスク状態を保存しておく。次の読書時にその状態が初期値として使用される。

対応：XMDF

**タグ：tts**

TTS 発音時の区切り情報

子供要素として配置できる要素：文字データ、ブロックレベル要素、インライン要素、オブジェクト要素

備考：記述例<tts>The computer is an important research tool</tts>デフォルトの言語は全体構造で指定可。それ以外は<tts>要素の中に<span>要素をおき、その lang 属性で表現することも可。

タグ<tts>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**speaker** [optional]

話者情報

属性値として下記の値を取る。

"male"

成人男性

"female"

成人女性

"child"

子供

この仕様は変更される事があります。

### 4.3 辞書関連

※本カテゴリに含まれるタグ・属性・属性値は、すべて TTX では対応していないため、「対応」の項目を割愛している。(XMDF で対応していないものも存在する)

#### タグ : ref

参照を示す。「～も見よ」という意味。<body>の子供要素。  
子供要素として配置できる要素：文字データ, external\_char  
タグ<ref>は以下の属性を持つ。

##### 【属性】

**id** [required]

参照先項目の ID。<dict\_item>タグで定義した ID を指定する。

**type** [optional]

参照の種別

#### タグ : dict\_item

見出し語をまとめるタグ

子供要素として配置できる要素：文字データ, インライン要素, オブジェクト要素, gender, psp, glabel, pronunciation, inflec, lang, slabel, spellout, variant, etymology  
タグ<dict\_item>は以下の属性を持つ。

##### 【属性】

**type** [optional]

種別

**id** [required]

ID 番号

備考：これは編集上必要。

**rank** [optional]

重要単語などの情報

**level** [optional]

階層レベル

**page\_break** [optional]

このタグの末尾で改ページをするかどうか  
属性値として下記の値を取る。

*bool*

**turning\_page\_control** [optional]

page\_break 属性で”yes”を指定する場合、通常のスクロール操作時に、この単語の改ページ位置から前後のデータへの移動を禁止するかどうかを制御する。  
属性値として下記の値を取る。

"on"

前後のデータのいずれにも移動できない。

"off"

前後のデータのいずれにも移動できる。

"forward"

前のデータには移動できるが、後のデータに移動できない。

"back"

前のデータには移動できないが、後のデータには移動できる。

**revision** [optional]

この仕様は変更される事があります。



この単語データを追加するときのコンテンツの改訂バージョンを示す属性値として下記の値を取る。

数字

**delete** [optional]

この単語データの内容を削除するかどうかを指定する属性値として下記の値を取る。

*bool*

#### タグ : **reghead**

検索語をまとめるタグ。一つ以上の<headword>と 0 個以上の<key>を子供要素に持つ。  
子供要素として配置できる要素 : headword, key

#### タグ : **headword**

検索語ごとに存在するタグ

子供要素として配置できる要素 : 文字データ, external\_char

備考 : head の子要素には必ず 1 つ以上存在する。

タグ<headword>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**type** [optional]

検索語の種別。発音の場合は"pronunciation"。  
属性値として下記の値を取る。

"pronunciation"

発音

**table\_id** [required]

検索テーブルの指定

**phonetic\_notation** [optional]

言語の音声を文字で表示する音声記号の指定。  
デフォルトは"IPA"。  
属性値として下記の値を取る。

"IPA"

音声記号は国際音声記号 (International Phonetic Alphabet)。

#### タグ : **key**

検索のための入力文字列。ひらがなやアルファベット以外に、標準文字を含むコードが入れられる。  
子供要素として配置できる要素 : 文字データ

タグ<key>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**type** [optional]

検索テーブルで許される文字種を設定

#### タグ : **meaning**

語義。(語義番号ごとに立てる)

子供要素として配置できる要素 : インライン要素, オブジェクト要素

タグ<meaning>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**type** [optional]

カテゴリー

この仕様は変更される事があります。

- subid** [optional]  
定義中の位置を参照する参照 ID
- level** [optional]  
意味のレベル。0-9 の数字で指定。
- no** [optional]  
そのレベルの意味の数。0-9 の数字で指定。

#### タグ : example

用例

子供要素として配置できる要素：インライン要素，オブジェクト要素  
タグ<example>は以下の属性を持つ。

- [属性]**
- type** [optional]  
用例の種別

#### タグ : subhead

小見出しの先頭（必須ではない）

子供要素として配置できる要素：subheadword, meaning, example, key  
タグ<subhead>は以下の属性を持つ。

- [属性]**
- subid** [optional]  
当該小見出し参照 ID
- type** [optional]  
小見出しの種別

#### タグ : subheadword

小見出し語

子供要素として配置できる要素：文字データ, external\_char  
タグ<subheadword>は以下の属性を持つ。

- [属性]**
- subid** [optional]  
当該小見出し語の参照 ID
- type** [optional]  
小見出し語の種別

#### タグ : split

データをアルファベット単位などに分割

子供要素として配置できる要素：インライン要素，オブジェクト要素  
タグ<split>は以下の属性を持つ。

- [属性]**
- level** [optional]  
階層レベル。0-9 の数字で指定。

#### タグ : column

囲み記事や網掛け記事を作る

子供要素として配置できる要素：インライン要素，オブジェクト要素  
タグ<column>は以下の属性を持つ。

この仕様は変更される事があります。

**[属性]**

**subid** [required]

当該コラムの参照 ID

**type** [optional]

コラムの種別

**タグ : gender**

性種別。<dict\_item>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：インライン要素，オブジェクト要素

**タグ : glabel**

文法ラベル。<dict\_item>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：インライン要素，オブジェクト要素

**タグ : pronunciation**

発音記号。<dict\_item>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：インライン要素，オブジェクト要素

タグ<pronunciation>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**phonetic\_notation** [optional]

言語の音声を文字で表示する音声記号の指定。

デフォルトは"IPA"。

属性値として下記の値を取る。

"IPA"

音声記号は国際音声記号 (International Phonetic Alphabet)。

**タグ : psp**

品詞。<dict\_item>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：インライン要素，オブジェクト要素

**タグ : inflec**

語形変化。<dict\_item>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：インライン要素，オブジェクト要素

**タグ : lang**

言語種別。<dict\_item>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：インライン要素，オブジェクト要素

**タグ : slabel**

専門用語ラベル。<dict\_item>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：インライン要素，オブジェクト要素

**タグ : spellout**

見出し語の省略部分。<dict\_item>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：インライン要素，オブジェクト要素

タグ<spellout>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

この仕様は変更される事があります。

**org** [optional]  
表示でどう置き換えるか

**タグ : variant**

異型語。<dict\_item>の子供要素。  
子供要素として配置できる要素：インライン要素，オブジェクト要素

**タグ : search\_page**

検索画面オブジェクト実体  
子供要素として配置できる要素：search\_page\_title, key\_input\_region, search\_link\_item

**タグ : search\_page\_title**

検索画面のタイトルと画像  
子供要素として配置できる要素：文字データ, external\_char  
タグ<search\_page\_title>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**src** [optional]  
検索画面画像データファイル名

**タグ : key\_input\_region**

見出し語入力領域  
子供要素として配置できる要素：key\_input\_region\_prompt, enable\_key\_type  
タグ<key\_input\_region>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**table\_id** [optional]  
見出し語入力領域と対応付ける検索テーブルの ID  
属性値として下記の値を取る。  
文字列

**search\_type** [optional]  
検索方法の指定  
属性値として下記の値を取る。

"matches\_only"

絞込み検索。見出し語入力領域に入力された文字列と、先頭文字から比較して一致する部分を持つ見出し語のみを検索結果として表示する。

"matches\_first"

頭だし検索。見出し語入力文字に入力された文字列と、先頭文字から比較して一致する部分を持つ見出し語と、その見出し語の次以降に登録されている見出し語とを検索結果として表示する。

**タグ : key\_input\_region\_prompt**

入力領域の近くに表示される文字列。<key\_input\_region>の子供要素。  
子供要素として配置できる要素：文字データ, external\_char

**タグ : enable\_key\_type**

入力可能な文字の種類。<key\_input\_region>の子供要素。  
子供要素として配置できる要素：char\_list

この仕様は変更される事があります。

#### タグ : **search\_link\_item**

リンク先一覧に関する情報を設定する

子供要素として配置できる要素 : **search\_link\_title**

タグ<search\_link\_item>は以下の属性を持つ。

##### **[属性]**

**id** [required]

文字列 ID

属性値として下記の値を取る。

文字列

#### タグ : **search\_link\_title**

リンク先一覧に表示するタイトル。<search\_link\_item>の子供要素。

子供要素として配置できる要素 : 文字データ, **external\_char**

タグ<search\_link\_title>は以下の属性を持つ。

##### **[属性]**

**xml:lang** [optional]

デフォルトの言語

**lang\_code** [optional]

タイトルの言語コードを指定。ISO 639-3 以外のものを使う場合に指定。

#### タグ : **etymology**

語源情報。<dict\_item>の子供要素。

子供要素として配置できる要素 : インライン要素, オブジェクト要素

#### タグ : **tts**

TTS 発音時の区切り情報

子供要素として配置できる要素 : 文字データ, ブロックレベル要素, インライン要素, オブジェクト要素

備考 : 記述例<tts>The computer is an important research tool</tts>デフォルトの言語はに、それ以外は<tts>要素の中に<span>タグをおき、その lang 属性で表現。

タグ<tts>は以下の属性を持つ。

##### **[属性]**

**speaker** [optional]

話者情報

属性値として下記の値を取る。

"male"

成人男性

"female"

成人女性

"child"

子供

## 4.4 検索テーブル関連

※本カテゴリに含まれるタグ・属性・属性値は、すべて TTX では対応していないため、「対応」の項目を割愛している。(XMDF で対応していないものも存在する)

この仕様は変更される事があります。

Copyright © 2010-2012 The E-Book Interchange Format Standardization Project. All rights reserved

## タグ : search\_table

検索テーブルのルート要素。コンテンツ内に最大 1 つだけ存在する。

子供要素として配置できる要素 : search\_table\_def

タグ<search\_table>は以下の属性を持つ。

### [属性]

#### **bookmark** [optional]

検索履歴機能の対象とするか。デフォルトは"false"

属性値として下記の値を取る。

*bool*

#### **wordbook** [optional]

単語帳機能の対象とするか。デフォルトは"false"

属性値として下記の値を取る。

*bool*

#### **jump\_search\_root** [optional]

このコンテンツを、コンテンツの本文を表示している状態で、文字列を検索語とした複数のコンテンツの検索の検索元とするか。デフォルトは"true"

属性値として下記の値を取る。

*bool*

#### **jump\_search** [optional]

このコンテンツに含まれる検索テーブルを、コンテンツの本文を表示した状態での複数のコンテンツの検索の対象とするか。デフォルトは"true"

属性値として下記の値を取る。

*bool*

#### **all\_search** [optional]

このコンテンツに含まれる検索テーブルを、ユーザが入力した文字列をキーとした（コンテンツの本文は表示されていない状態で）複数のコンテンツの検索の対象とするかどうか。

デフォルトは"true"

属性値として下記の値を取る。

*bool*

## タグ : search\_table\_def

検索テーブル毎に検索テーブルに関する情報を設定する。<search\_table>の下の子供要素として最低 1 つは存在する。

子供要素として配置できる要素 : enable\_key\_type, key\_normalization

タグ<search\_table\_def>は以下の属性を持つ。

### [属性]

#### **id** [required]

検索テーブルの ID。コンテンツ内に同じ ID を持つ複数の検索テーブルがあってはいけない。

属性値として下記の値を取る。

*文字列*

#### **use\_default** [optional]

検索テーブルを使った検索処理に、検索テーブルの指定が特にない場合に、デフォルトとして使って良いか。デフォルトは"false"。

属性値として下記の値を取る。

*bool*

#### **sorting\_rule** [optional]

この仕様は変更される事があります。

見出し語をテーブルに格納する際のソーティングの順序を指定。

デフォルトは"implicit"。

属性値として下記の値を取る。

"implicit"

コンテンツ内の記述順どおり。

"unicode"

ユニコードの順で。

"other"

その他

**name** [optional]

検索結果のリスト表示などで用いるテーブル名

**short\_name** [optional]

検索結果のリスト表示などで用いるテーブル名の短縮形

**wild** [optional]

ワイルドカード用の検索テーブルを出力するか。デフォルトは"false"

属性値として下記の値を取る。

*bool*

**blank** [optional]

ブランクワード用検索テーブルを出力するか。デフォルトは"false"。

属性値として下記の値を取る。

*bool*

**end** [optional]

語尾検索用の検索テーブルを出力するか。デフォルトは"false"。

属性値として下記の値を取る。

*bool*

**help\_item\_id** [optional]

検索テーブルに関する説明を記述したフローデータの ID。id は<item>で記述したものを指定する。

## タグ : enable\_key\_type

この検索テーブルに登録される見出し語の検索文字列に使用できる文字の種類を指定する。  
<search\_table\_def>の子供要素。

子供要素として配置できる要素 : char\_list

タグ<enable\_key\_type>は以下の属性を持つ。

[属性]

**numerals** [optional]

見出し語の検索文字列に数字を使用するか。デフォルトは"false"。

属性値として下記の値を取る。

*bool*

**basic\_alphabet** [optional]

見出し語の検索文字列にアルファベットを使用するか。デフォルトは"false"。

属性値として下記の値を取る。

*bool*

**kana** [optional]

見出し語の検索文字列にかなを使用するか。デフォルトは"false"。

属性値として下記の値を取る。

*bool*

この仕様は変更される事があります。

**kanji** [optional]

見出し語の検索文字列に漢字を使用するか。デフォルトは"false"。  
属性値として下記の値を取る。

*bool*

**listed** [optional]

文字のリストを与える。"true"の場合、文字は子供要素<char\_list>に記述。"true"の場合、  
numerals/basic\_alphabet/kana/kanji 属性は無視。デフォルトは"false"。  
属性値として下記の値を取る。

*bool*

**タグ : key\_normalization** (空タグ)

この検索テーブルに登録される見出し語の読みに対する正規化規則を指定する。  
<search\_table\_def>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：なし

タグ<key\_normalization>は以下の属性を持つ。

**[属性]****capitalization** [optional]

大文字に正規化するか。デフォルトは"true"。  
属性値として下記の値を取る。

*bool*

**cho\_on** [optional]

長音の変換方法を指定する。  
デフォルトは"delete"。  
属性値として下記の値を取る。

"delete"

削除する

"repeat"

前の文字の母音を繰り返す

"as\_is"

変換しない

**daku\_on** [optional]

濁音を清音に変換するか。デフォルトは"true"。  
属性値として下記の値を取る。

*bool*

**handaku\_on** [optional]

半濁音を清音に変換するか。デフォルトは"true"。  
属性値として下記の値を取る。

*bool*

**soku\_on** [optional]

促音を大文字に変換するか。デフォルトは"true"。  
属性値として下記の値を取る。

*bool*

**yo\_on** [optional]

拗音を大文字に変換するか。デフォルトは"true"。  
属性値として下記の値を取る。

*bool*

**other\_small\_kana** [optional]

この仕様は変更される事があります。



促音、拗音以外のかな小文字を大文字に変換するか。デフォルトは"true"。  
属性値として下記の値を取る。

*bool*

#### タグ : **char\_list**

<enable\_key\_type>で listed="true"とした場合の文字のリストを指定する。<enable\_key\_type>の子  
供要素。

子供要素として配置できる要素 : 文字データ

## 4.5 コミック関連

※本カテゴリに含まれるタグ・属性・属性値は、すべて TTX では対応していないため、「対応」の項目  
を割愛している。(XMDF で対応していないものも存在する)

#### タグ : **comic\_cell\_type\_body**

セル表示用コミック本文データの親タグ。<body>の子供要素。一つ以上の<cell>を子供要素に持つ。  
子供要素として配置できる要素 : cell

タグ<comic\_cell\_type\_body>は以下の属性を持つ。

##### [属性]

**bg\_color** [optional]

このセル表示用コミック本文データ内の各セル画像を表示するときの画像表示領域内の背  
景色

**bg\_color\_space** [optional]

背景色の色空間

属性値として下記の値を取る。

"RGB"

色空間は RGB である。

#### タグ : **comic\_page\_type\_body**

ページ表示用コミック本文データの親タグ。<body>の子供要素。一つ以上の<page>を子供要素に持  
つ。

子供要素として配置できる要素 : page

タグ<comic\_page\_type\_body>は以下の属性を持つ。

##### [属性]

**bg\_color** [optional]

このページ表示用コミック本文データ内の各ページ画像を表示するときの画像表示領域内  
の背景色

**bg\_color\_space** [optional]

背景色の色空間

属性値として下記の値を取る。

"RGB"

色空間は RGB である。

**order** [optional]

このページ表示用コミック本文データの各ページについて、ページ内のコマ（セル画像に  
相当）の表示順（開始位置と終了位置）を指定。

属性値として下記の値を取る。

この仕様は変更される事があります。

#### "RT-LB"

右上開始ー左下終了。ページ表示切り替え、次ページめくり時は、ページ画像の右上端を画像表示領域の右上端に一致させて、ページ画像が表示される。前ページめくり時は、ページ画像の左下端を画像表示領域の左下端に一致させて、ページ画像が表示される。

#### "LT-RB"

左上開始ー右下終了。ページ表示切り替え、次ページめくり時は、ページ画像の左上端を画像表示領域の左上端に一致させて、ページ画像が表示される。前ページめくり時は、ページ画像の右下端を画像表示領域の右下端に一致させて、ページ画像が表示される。

#### "RB-LT"

右下開始ー左上終了。ページ表示切り替え、次ページめくり時は、ページ画像の右下端を画像表示領域の右下端に一致させて、ページ画像が表示される。前ページめくり時は、ページ画像の左上端を画像表示領域の左上端に一致させて、ページ画像が表示される。

#### "LB-RT"

左下開始ー右上終了。ページ表示切り替え、次ページめくり時は、ページ画像の左下端を画像表示領域の左下端に一致させて、ページ画像が表示される。前ページめくり時は、ページ画像の右上端を画像表示領域の右上端に一致させて、ページ画像が表示される。

### タグ : cell

セルデータ。a タグの子要素としたり、子要素として map を指定することができるものとする。

子供要素として配置できる要素 : cell\_scene, speech, map

タグ<cell>は以下の属性を持つ。

#### [属性]

**src** [required]

このセルの画像

**bg\_color** [optional]

画像表示領域内の背景色

**bg\_color\_space** [optional]

背景色の色空間

属性値として下記の値を取る。

"RGB"

色空間は RGB である。

**fit** [optional]

<bvf>タグの display\_size 属性で指定した推奨画面サイズ (シーンのサイズに相当) より、端末の表示画面サイズの方が小さい場合に、シーンの Fit 表示 (アスペクト比は保存) を許可するかどうかを設定する。デフォルトは"false"。

属性値として下記の値を取る。

bool

**effect** [optional]

1つ前のセル画像からこのセル画像を表示するときの表示効果を指定する。

属性値として下記の値を取る。

"fade-in"

画像表示領域を背景色で表示後、セル画像を徐々に表示

"dissolve"

この仕様は変更される事があります。

前のセル画像の上に次のセル画像を徐々に表示

"slide-right"

画像表示領域を背景色で表示後、セル画像を左から右へスライド表示

"slide-left"

画像表示領域を背景色で表示後、セル画像を右から左へスライド表示

"slide-up"

画像表示領域を背景色で表示後、セル画像を下から上へスライド表示

"slide-down"

画像表示領域を背景色で表示後、セル画像を上から下へスライド表示

"overwrite-right"

前のセル画像の上に次のセル画像を左から右へ上書き表示

"overwrite-left"

前のセル画像の上に次のセル画像を右から左へ上書き表示

"overwrite-up"

前のセル画像の上に次のセル画像を下から上へ上書き表示

"overwrite-down"

前のセル画像の上に次のセル画像を上から下へ上書き表示

"box-center"

画像表示領域を背景色で表示後、真ん中から四方向へセル画像を四角拡大表示

"box-rightdown"

画像表示領域を背景色で表示後、左上から右下へセル画像を四角拡大表示

"box-leftdown"

画像表示領域を背景色で表示後、右上から左下へセル画像を四角拡大表示

"box-rightup"

画像表示領域を背景色で表示後、左下から右上へセル画像を四角拡大表示

"box-leftup"

画像表示領域を背景色で表示後、右下から左上へセル画像を四角拡大表示

"box-free"

画像表示領域を背景色で表示後、セル画像の任意の位置からセル画像を四角拡大表示

なお、四角拡大表示の開始位置は `effect_pos` 属性で指定する。

"pushout-right"

前のセル画像を左から右へ押し出ししながら次のセル画像を表示

"pushout-left"

前のセル画像を右から左へ押し出ししながら次のセル画像を表示

"pushout-up"

前のセル画像を下から上へ押し出ししながら次のセル画像を表示

"pushout-down"

前のセル画像を上から下へ押し出ししながら次のセル画像を表示

"wipe-right"

前のセル画像を左から右へ次のセル画像に切り替えながら表示

"wipe-left"

前のセル画像を右から左へ次のセル画像に切り替えながら表示

"wipe-up"

前のセル画像を下から上へ次のセル画像に切り替えながら表示

"wipe-down"

前のセル画像を上から下へ次のセル画像に切り替えながら表示

"wipe-vertical-in"

この仕様は変更される事があります。

前のセル画像を上下から中央へ次のセル画像に切り替えながら表示

"wipe-vertical-out"

前のセル画像を中央から上下へ次のセル画像に切り替えながら表示

"wipe-horizontal-in"

前のセル画像を左右から中央へ次のセル画像に切り替えながら表示

"wipe-horizontal-out"

前のセル画像を中央から左右へ次のセル画像に切り替えながら表示

"wipe-center-in"

前のセル画像を四隅から中央へ次のセル画像に切り替えながら表示

"wipe-center-out"

前のセル画像を中央から四隅へ次のセル画像に切り替えながら表示

"randomblock"

前のセル画像の上に次のセル画像をランダムにブロック単位で徐々に表示

**effect\_time** [optional]

effect 属性で指定する表示効果の時間を 1（速い）～10（遅い）の 10 段階の相対時間で設定する。

**effect\_pos** [optional]

表示効果として任意位置からの四角拡大表示を指定（effect 属性で” box-free” を指定）する場合の開始位置を指定する。effect 属性で”box-free”を指定時は省略不可。他の値が指定されている場合は無視される。なお、指定できる開始位置の範囲はシーン内とする。

**scroll** [optional]

セルのスクロール方法を指定する。

属性値として下記の値を取る。

"custom"

セル画像の任意座標位置（<cell\_scene/>タグの position 属性で指定）にシーンを設定し、設定したシーン間をスクロール表示する。

"up"

セル画像の下端から上端へスクロール表示する。

"down"

セル画像の上端から下端へスクロール表示する。

"left"

セル画像の右端から左端へスクロール表示する。

"right"

セル画像の左端から右端へスクロール表示する。

"no"

スクロール表示しない。（セル画像の中心座標をシーンの中心に設定して表示する。）

**scroll\_time** [optional]

このセルのスクロール時間を 1（速い）～10（遅い）の 10 段階の相対時間で指定する。

**vibration** [optional]

このセルを表示する際に端末を振動させるかどうかを設定する。

属性値として下記の値を取る。

*bool*

**display\_vibration** [optional]

このセルを表示する際に画面振動させるかどうかを設定する。

属性値として下記の値を取る。

*bool*

**vibration\_direction** [optional]

この仕様は変更される事があります。

画面振動の方向を設定する。  
属性値として下記の値を取る。

"vertical"

縦方向

"horizontal"

横方向

**vibration\_time** [optional]

端末の振動時間および画面振動時間を 1 (短い) ~5 (長い) の 5 段階の相対時間で設定する。

**backlight** [optional]

このセルを表示する際にバックライトを点滅させるかどうかを設定する。

属性値として下記の値を取る。

*bool*

**backlight\_time** [optional]

バックライトの点滅回数を 1~5 の 5 段階で設定する。

**backlight\_cycle** [optional]

バックライトの点滅周期を 1 (短い) ~3 (長い) の 3 段階の相対時間で設定する。

**sound** [optional]

このセルを表示する際の効果音を指定する。

**url\_jump** [optional]

このセルに関連する Web サイト (html 形式に限定) の URL アドレスを指定する。

**jump\_itemid** [optional]

セル表示からページ表示へ切り替える際のジャンプ先のページの ID を指定する。

**usemap** [optional]

クライアントサイド・イメージマップの指定

#### タグ : cell\_scene

セルシーンデータ。<cell>の子要素。

子要素として配置できる要素 : cell\_draw\_image

タグ<cell\_scene>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**position** [optional]

このシーンで画像表示領域の中心に表示するセル画像の座標を指定する。

**scroll\_time** [optional]

このシーンから次のシーンへの移動時のスクロール時間を 1 (速い) ~10 (遅い) の 10 段階の相対時間で指定する。

**draw\_image\_time** [optional]

シーンを表示した後に、重ね合わせ画像を表示するまでの時間を 1 (短い) ~3 (長い) の 3 段階の相対時間で設定する。

**vibration** [optional]

このシーンを表示する際に端末を振動させるかどうかを設定する。

属性値として下記の値を取る。

*bool*

**display\_vibration** [optional]

このシーンを表示する際に画面振動させるかどうかを設定する。

属性値として下記の値を取る。

*bool*

この仕様は変更される事があります。

**vibration\_direction** [optional]

画面振動の方向を設定する。  
属性値として下記の値を取る。

"vertical"

縦方向

"horizontal"

横方向

**vibration\_time** [optional]

端末の振動時間および画面振動時間を 1（短い）～5（長い）の 5 段階の相対時間で設定する。

**backlight** [optional]

このシーンを表示する際にバックライトを点滅させるかどうかを設定する。  
属性値として下記の値を取る。

*bool*

**backlight\_time** [optional]

バックライトの点滅回数を 1～5 の 5 段階で設定する。

**backlight\_cycle** [optional]

バックライトの点滅周期を 1（短い）～3（長い）の 3 段階の相対時間で設定する。

**sound** [optional]

このシーンを表示する際の効果音を指定する。F

**url\_jump** [optional]

このシーンに関連する Web サイト（html 形式に限定）の URL アドレスを指定する。

**タグ : cell\_draw\_image** （空タグ）

セルに張り付ける画像データ。<cell\_scene>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：なし

タグ<cell\_draw\_image>は以下の属性を持つ。

**[属性]****src** [required]

セル画像上に表示する重ね合わせ画像を指定する。

**position** [required]

src 属性で指定する重ね合わせ画像のセル画像上での表示位置（座標）。

**speech** [optional]

セリフ（テキスト）。

**speaker** [optional]

発話者。そのセリフをしゃべる登場人物名。

**タグ : page**

ページデータ。<comic\_page\_type\_body>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：page\_image, speech

タグ<page>は以下の属性を持つ。

**[属性]****bg\_color** [optional]

このページの画像（<page\_image/>タグで指定）を表示するときの画像表示領域内の背景色

**bg\_color\_space** [optional]

背景色の色空間

この仕様は変更される事があります。

属性値として下記の値を取る。

"RGB"

色空間は RGB である。

**id** [required]

このページの ID を設定する。

属性値として下記の値を取る。

文字列

**cell\_jump\_id** [required]

ページ表示からセル表示へ切り替える際のジャンプ先のセルの ID を指定する。

属性値として下記の値を取る。

文字列

**タグ : page\_image** (空タグ)

ページ画像データ。<page>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：なし

タグ<page\_image>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**src** [required]

このページの画像を指定する。

**タグ : speech**

セリフ。<cell>, <page>の子供要素。テキストを子供要素に書く。複数指定可能。省略可。

子供要素として配置できる要素：文字データ

タグ<speech>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**speaker** [optional]

発話者。そのセリフをしゃべる登場人物名。

## 4.6 書誌データ

**タグ : bibliography**

書誌情報のルート要素。

子供要素として配置できる要素：title, edition, creator, subject, description, publisher, distributor, contributor, date, identifier, source, language, relation, coverage, rights, price, comment, classification, rating, synopsis, image

対応：TTX、XMDF

**タグ : title**

タイトルを定義。複数書いてもよい。<bibliography>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：文字データ, external\_char, ruby, comment

対応：TTX、XMDF

タグ<title>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**reading** [optional]

タイトルの読み

対応：TTX、XMDF

**type** [optional]

この仕様は変更される事があります。

タイトルの種別  
対応：XMDF  
属性値として下記の値を取る。

"title"

タイトル名  
対応：XMDF

"series"

シリーズ名  
対応：XMDF

"subtitle"

サブタイトル名  
対応：XMDF

"other"

その他  
対応：XMDF

#### タグ：edition

エディション。<bibliography>の子供要素。  
子供要素として配置できる要素：文字データ, external\_char, ruby, comment  
対応：XMDF  
タグ<edition>は以下の属性を持つ。

##### 【属性】

**reading** [optional]  
読み

#### タグ：creator

制作者。<organization>, <person>, <comment>を子供要素に持つことで詳細を定義する。  
<bibliography>の子供要素。  
子供要素として配置できる要素：organization, person, comment  
対応：TTX、XMDF  
タグ<creator>は以下の属性を持つ。

##### 【属性】

**role** [optional]  
役割  
対応：XMDF  
属性値として下記の値を取る。

"designer"

デザイン  
対応：XMDF

"author"

著者  
対応：XMDF

"editor"

編集者  
対応：XMDF

"translator"

訳者

この仕様は変更される事があります。



対応：XMDF  
"supervisor"  
監修者  
対応：XMDF  
"photographer"  
写真  
対応：XMDF  
"illustrator"  
イラスト  
対応：XMDF  
"binder"  
装丁人  
対応：XMDF  
"planner"  
企画者  
対応：XMDF  
"other"  
その他  
対応：XMDF

#### タグ：subject

テーマ。<bibliography>の子供要素。  
子供要素として配置できる要素：keyword, comment  
対応：XMDF

#### タグ：description

詳細。<bibliography>の子供要素。  
子供要素として配置できる要素：文字データ, external\_char, ruby, comment  
対応：TTX

#### タグ：publisher

出版社の情報を登録。<organization>, <person>, <comment>, <code>を子供要素に持つことで詳細を定義する。<bibliography>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：organization, person, comment, code  
対応：TTX、XMDF

タグ<publisher>は以下の属性を持つ。

##### [属性]

##### country [optional]

出版国。ISO3166 で規定された Country Code の A3 コードを小文字で記録する。例えば日本は”jpn”。

対応：XMDF

#### タグ：code

出版社などのコード。<publisher>,<distrubutor> の子供要素。

子供要素として配置できる要素：文字データ, external\_char, ruby, comment  
対応：XMDF

タグ<code>は以下の属性を持つ。

この仕様は変更される事があります。

**[属性]**

**type** [optional]

出版社コードの種別。記述内容は自由。

**タグ : distributor**

頒布者の情報を登録。<organization>, <person>, <comment>, <code>を子供要素に持つことで詳細を定義する。<bibliography>の子供要素。

子供要素として配置できる要素 : organization, person, comment, code

対応 : XMDF

**タグ : contributor**

協力者の情報を登録。<organization>, <person>, <comment>を子供要素に持つことで詳細を定義する。<bibliography>の子供要素。

子供要素として配置できる要素 : organization, person, comment

対応 : XMDF

タグ<contributor>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**role** [optional]

役割

対応 : XMDF

**タグ : date**

日付。system 属性で指定した規格に則って標記した日付を子供要素に持つ。<bibliography>の子供要素。

子供要素として配置できる要素 : 文字データ, external\_char, ruby, comment

対応 : TTX, XMDF

タグ<date>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**type** [optional]

出版日/発売日/改訂日の種別

対応 : XMDF

属性値として下記の値を取る。

"publication"

出版日

対応 : XMDF

"sale"

発売日

対応 : XMDF

"revision"

改訂日

**system** [optional]

日付標記の規格を指定する。デフォルトは"ISO8601"

**タグ : identifier**

コンテンツの識別子を規定。<bibliography>の子供要素。

子供要素として配置できる要素 : 文字データ, external\_char, ruby, comment

対応 : XMDF

この仕様は変更される事があります。

タグ<identifier>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**type** [required]

識別子の種別を指定する。(例) "ISBN"

対応：TTX、XMDF

属性値として下記の値を取る。

"ISBN"

識別子は ISBN

対応：XMDF

**タグ：source**

派生元情報への参照。<bibliography>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：文字データ, external\_char, ruby, comment

**タグ：language**

言語。<bibliography>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：文字データ

備考：ISO 639-3 に準拠。例えば日本語は jpn

タグ<language>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**system** [optional]

言語名称を規定する規格。デフォルトは"ISO639-3"

**タグ：relation**

関連する情報への参照。<bibliography>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：文字データ, external\_char, ruby, comment

**タグ：coverage**

範囲又は対象。<bibliography>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：文字データ, external\_char, ruby, comment

**タグ：rights**

権利に関する情報。<bibliography>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：文字データ, external\_char, ruby, comment

**タグ：price**

価格。<bibliography>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：文字データ, comment

対応：TTX、XMDF

タグ<price>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**currency** [required]

通貨

備考：ISO4217 の通貨コードに準拠。例えば円は JPY

対応：XMDF

**country** [optional]

対象国

この仕様は変更される事があります。

備考：ISO3166 で規定された Country Code の A3 コードを小文字で記録する。例えば日本は”jpn”  
対応：XMDF

#### タグ：person

<publisher>, <distributor>, <contributor>の子供要素として、個人の情報を定義する。名前、連絡先、コメントなどは、<name>, <contact>, <comment>タグを子供要素に持つことで定義する。  
子供要素として配置できる要素：name, contact, comment  
対応：XMDF

#### タグ：organization

団体情報。<publisher>, <distributor>, <contributor>の子供要素として、団体の情報を定義する。名前、連絡先、コメントなどは、<name>, <contact>, <comment>タグを子供要素に持つことで定義する。  
子供要素として配置できる要素：name, contact, comment  
対応：XMDF

#### タグ：name

名前。<person>/<organization>/<address>の子供要素。複数指定可能。  
子供要素として配置できる要素：文字データ, external\_char, ruby, comment  
対応：XMDF  
タグ<name>は以下の属性を持つ。

##### 【属性】

##### type [optional]

名前の種別。<name>タグの直接の親タグが<organization>の場合は省略可能。地名もこれで表現。

対応：XMDF

属性値として下記の値を取る。

"first"

名（ファーストネーム）

対応：XMDF

"middle"

ミドルネーム

対応：XMDF

"last"

姓（ラストネーム）

対応：XMDF

"place"

場所の名前（地名）

対応：XMDF

"other"

その他の名称

##### reading [optional]

読み

対応：XMDF

#### タグ：contact

この仕様は変更される事があります。

名前以外の情報。<person>,<organization>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：address, email, telephone, fax, website, comment

#### タグ：address

住所。<contact>の子供要素。複数指定可能。

子供要素として配置できる要素：name, postcode, comment

対応：XMDF

タグ<address>は以下の属性を持つ。

##### [属性]

**reading** [optional]

住所の読み方。

#### タグ：comment

コメント

子供要素として配置できる要素：文字データ

対応：TTX、XMDF

#### タグ：classification

分類

子供要素として配置できる要素：文字データ, comment

対応：XMDF

タグ<classification>は以下の属性を持つ。

##### [属性]

**type** [required]

分類の種別

備考：Japanese\_C\_CODE

対応：XMDF

#### タグ：rating

レーティング。アダルト指定、暴力指定等を設定。

子供要素として配置できる要素：文字データ, comment

対応：XMDF

タグ<rating>は以下の属性を持つ。

##### [属性]

**type** [optional]

レーティングの種別

対応：XMDF

属性値として下記の値を取る。

"adult"

アダルト指定の対象

対応：XMDF

"violent"

暴力指定の対象

対応：XMDF

#### タグ：synopsis

要約

この仕様は変更される事があります。

子供要素として配置できる要素：文字データ, external\_char, ruby, comment  
対応：TTX、XMDF

#### タグ：keyword

キーワードを登録する。<subject>の子要素。

子供要素として配置できる要素：文字データ, external\_char, ruby, comment

対応：XMDF

タグ<keyword>は以下の属性を持つ。

##### 【属性】

**type** [optional]

キーワードのカテゴリ

対応：XMDF

**reading** [optional]

読み

対応：XMDF

#### タグ：image

画像ファイル名を子要素に指定し、その種別を定義する。<bibliography>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：文字データ

対応：XMDF

タグ<image>は以下の属性を持つ。

##### 【属性】

**type** [optional]

画像の種別

対応：TTX、XMDF

属性値として下記の値を取る。

"spine"

背表紙

対応：XMDF

"front"

表紙

対応：XMDF

"thumbnail"

サムネール

対応：XMDF

"other"

その他

#### タグ：postcode

郵便番号。<address>の子供要素。1つだけ指定可能。省略可能。

子供要素として配置できる要素：文字データ, comment

対応：XMDF

#### タグ：email

電子メールアドレス。<contact>の子供要素。複数指定可能。

子供要素として配置できる要素：文字データ, comment

対応：XMDF

この仕様は変更される事があります。

**タグ : telephone**

電話番号。<contact>の子供要素。複数指定可能。  
子供要素として配置できる要素：文字データ, comment  
対応：XMDF

**タグ : fax**

ファクシミリ番号。<contact>の子供要素。複数指定可能。  
子供要素として配置できる要素：文字データ, comment  
対応：XMDF

**タグ : website**

ウェブサイトアドレス。<contact>の子供要素。複数指定可能。  
子供要素として配置できる要素：文字データ, comment  
対応：XMDF

## 4.7 全体設定データ

**タグ : global\_setting**

ルートタグ  
子供要素として配置できる要素：default\_ccs, page\_progression\_direction, window, proprietary, permission  
対応：XMDF

**タグ : default\_ccs**

このコンテンツで使用している標準文字および拡張文字の範囲を示す文字集合名。子供要素に書く。二重引用符などで囲まない。複数ある場合は、半角カンマ"," でつなぐ。(例 JIS X 0208:1997,JIS X 0213 など)。  
子供要素として配置できる要素：文字データ  
対応：XMDF

**タグ : page\_progression\_direction**

綴じ方向（ページ進行方向）を定義する。右から左への場合は「rl」もしくは「rtl」。左から右への場合は「lr」もしくは「ltr」を、子供要素に書く。  
子供要素として配置できる要素：文字データ  
対応：TTX

**タグ : window** (空タグ)

ウィンドウサイズの設定  
子供要素として配置できる要素：なし  
対応：TTX  
タグ<window>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**width** [optional]

ウィンドウサイズの設定（幅）  
対応：TTX  
属性値として下記の値を取る。

この仕様は変更される事があります。

数値 (ピクセル数)

対応 : TTX

**height** [optional]

ウィンドウサイズの設定 (高さ)

対応 : TTX

属性値として下記の値を取る。

数値 (ピクセル数)

対応 : TTX

#### タグ : **proprietary**

交換する必要はないが、記録はしておきたい、ベンダー特有の記述をこのタグで囲む。

子供要素として配置できる要素 : 文字データ、あらゆるタグ

タグ<proprietary>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**vendor** [required]

ベンダー名あるいはレンダリングエンジン名等、ベンダー固有の名称。例 ("ttime", "xmdf")

## 4.8 目次／部品データ

#### タグ : **package**

ルート要素。

子供要素として配置できる要素 : manifest, spine, special\_page\_link

備考 : 子供要素に、<manifest>, <spine>, (必要に応じて) <special\_page\_link>の順で定義する必要がある。

対応 : TTX, XMDF

タグ<package>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**version** [optional]

バージョン

#### タグ : **manifest**

部品のリストを記述。<package>の子供要素。

子供要素として配置できる要素 : item

備考 : 子供要素に、コンテンツで用いる部品データを<item>を使って順に定義する。

対応 : TTX, XMDF

タグ<manifest>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**version** [optional]

バージョン

#### タグ : **item**

コンテンツで用いられる部品データを示す。<manifest>の子供要素。子供要素としては<permission>のみを持つ。

子供要素として配置できる要素 : permission

対応 : TTX, XMDF (代替対応)

タグ<item>は以下の属性を持つ。

この仕様は変更される事があります。



## [属性]

### **id** [required]

識別のための文字列

対応：TTX、XMDF

属性値として下記の値を取る。

文字列

対応：TTX、XMDF

### **href** [required]

ファイル名

対応：TTX、XMDF

### **media-type** [required]

「部品」(manifest)ファイルの id を参照。

備考："application/xml"、"application/x-bvf-flip-animation"以外は、対象ファイルに応じて設定。

対応：TTX、XMDF

属性値として下記の値を取る。

"application/xml"

本文データ

対応：TTX、XMDF

"application/x-bvf-flip-animation"

アニメーション

対応：XMDF

## タグ：spine

各部分の順番を示す。<package>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：itemref

対応：TTX、XMDF

タグ<spine>は以下の属性を持つ。

## [属性]

### **toc** [optional]

どのファイルが目次であるかを示す。<manifest>内の<item>で定義した id を指定する。

対応：TTX、XMDF

### **global\_setting** [optional]

どのファイルが全体設定ファイルであるかを示す。<manifest>内の<item>で定義した id を指定する。

対応：TTX、XMDF

### **search\_table** [optional]

どのファイルが検索テーブルファイルであるかを示す。<manifest>内の<item>で定義した id を指定する。

対応：XMDF

### **bibliography** [optional]

どのファイルが書誌データファイルであるかを示す。<manifest>内の<item>で定義した id を指定する。

対応：TTX、XMDF

## タグ：itemref (空タグ)

<spine>の子供要素であり、コンテンツが持つ各項目を、このタグを使って順番に並べることにより、

この仕様は変更される事があります。

コンテンツ内の順番を定義する。  
子供要素として配置できる要素：なし  
対応：TTX、XMDF  
タグ<itemref>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**idref** [required]

<manifest>内の<item>で定義した id を指定する。

対応：TTX、XMDF

**タグ：special\_page\_link**

子供要素に<special\_page>を用いて、頻繁に参照されるページや、書籍を読む上で重要となるページ（例えば、小説における「人物相関図」のページとか、旅行のガイドブックにおける「地図」のページなど）に簡単にジャンプできるように、フローの位置などの情報をあらかじめ登録しておく。  
<package>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：special\_page

対応：XMDF

**タグ：special\_page**

子供要素に、<manifest>内の<item>で登録した id や、その<item>のファイル内のオブジェクト ID などを位置情報として指定することにより、登録する位置情報毎に特殊ページの情報を記述する。  
<special\_page\_link>の子供要素。

子供要素として配置できる要素：文字データ

対応：XMDF

タグ<special\_page>は以下の属性を持つ。

**[属性]**

**type** [optional]

登録する位置情報の内容種別  
デフォルトは"other"。

対応：XMDF

属性値として下記の値を取る。

"cover"

表紙

対応：XMDF

"title\_page"

とびら

対応：XMDF

"preface"

前書き

対応：XMDF

"contents"

目次

対応：XMDF

"body"

本文の先頭

対応：XMDF

"column"

コラム

この仕様は変更される事があります。

対応 : XMDF  
"note"  
注釈  
対応 : XMDF  
"figure"  
図表  
対応 : XMDF  
"ad"  
広告  
対応 : XMDF  
"afterword"  
後書き  
対応 : XMDF  
"appendix"  
付録  
対応 : XMDF  
"answer"  
解答集  
対応 : XMDF  
"glossary"  
用語集  
対応 : XMDF  
"bibliography"  
参考文献  
対応 : XMDF  
"commentary"  
解説  
対応 : XMDF  
"index"  
索引  
対応 : XMDF  
"imprint"  
奥付  
対応 : XMDF  
"author\_info"  
著者紹介  
対応 : XMDF  
"other"  
その他  
対応 : XMDF  
"flow\_title"  
フロータイトル  
対応 : XMDF  
**title** [optional]  
登録した位置情報のタイトル  
対応 : XMDF

この仕様は変更される事があります。

## 4.9 アニメーション関連データ

### タグ : **flip\_animation**

連続静止画アニメーション。アニメーションごとに独立した.xml ファイルで記述する。本文からは **img** タグなどで指定する。このアニメーションに音声をつける場合は、子供要素に **<audio>** を指定する。一つ以上の **<flip\_animation\_source>** を子供要素に持たなくてはならない。

子供要素として配置できる要素 : **audio, flip\_animation\_source**

タグ **<flip\_animation>** は以下の属性を持つ。

#### **[属性]**

**renewal\_time** [optional]

各静止画像の切り替え間隔 (秒またはミリ秒)。子要素に "...s" 又は "...ms" で記述する。

### タグ : **flip\_animation\_source** (空タグ)

アニメーションを構成する静止画像を指定。 **<flip\_animation>** の子供要素。

子供要素として配置できる要素 : なし

タグ **<flip\_animation\_source>** は以下の属性を持つ。

#### **[属性]**

**src** [required]

静止画像のファイル名

**renewal\_time** [optional]

各静止画像の切り替え間隔について、親要素の **<flip\_animation>** の **renewal\_time** 属性で指定した切り替え間隔とは違う値を指定したい場合 (秒またはミリ秒)。子要素に "...s" 又は "...ms" で記述する。

## 5 スタイルデータ

### 5.1 スタイルデータ一覧

プロパティ : **font-family**

書体を指定。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

フォント名

プロパティ : **font-style**

フォントのスタイルを指定。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"normal"

フォントファミリーの中の標準フォントを指定。

"italic"

フォントファミリーの中のイタリック体（イタリック体専用のデザインが施された種類の書体）のフォントを指定。

"oblique"

フォントファミリーの中の斜体（シンプルに文字を傾けた感じにデザインされた種類の書体）を指定。

プロパティ : **font-variant**

フォントをスモールキャップで表示。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"normal"

スモールキャップではない標準フォントを指定。

"small-caps"

スモールキャップのフォントを指定。

プロパティ : **font-size**

本文文字サイズ

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]px*

本文文字サイズを数値で指定する。（単位 px）

*[n]%, [n]em*

"maximum"

文字サイズ(最大) で表示する。

"big"

文字サイズ(大) で表示する。

"medium"

文字サイズ(中) で表示する。

"small"

文字サイズ(小) で表示する。

"minimum"

minimum 文字サイズ(最小) で表示する。

プロパティ : **font-base**

この仕様は変更される事があります。

文字サイズ指定時の基準  
プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"last"

直前の文字を基準

"default"

デフォルトの文字を基準

プロパティ：**color**

色の指定

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*colorvalue*

プロパティ：**color-space**

色空間を指定。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"RGB"

色空間は RGB である。

"SRGB"

色空間は SRGB である。

プロパティ：**filter**

文字や画像に表示効果をつける。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"invert0"

色の反転。

プロパティ：**font-weight**

フォントの太さ

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"normal"

400 と同義

"bold"

700 と同義

"bolder"

継承されたものより太く

"lighter"

継承されたものより細く

*100*

*200*

*300*

*400*

normal

*500*

*600*

*700*

bold

*800*

この仕様は変更される事があります。

900

"inherit"

プロパティ : **text-decoration**

下線（横書き時）、傍線（縦書き時）の指定  
プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"underline"

下線（横書き時）、傍線（縦書き時）を表示

"none"

何もしない

プロパティ : **text-emphasis-style**

強調（傍点、圏点等）

備考 : 属性値については、CSS Text Level 3 (Working Draft)と合わせた。これらのうち、none、open dot、filled dot 以外は、JIS X 4052 で規定されている。フォーマット間の互換性および過去の出版物の傾向から、filled circle（主に横書き）、filled sesame（主に縦書き）を推奨する。プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"none"

なし

"filled sesame"

黒ゴマ (SESAME DOT)

"filled double-circle"

蛇の目 (FISH EYE)

"filled dot"

黒点

"filled circle"

黒丸 (BLACK CIRCLE)

"filled triangle"

黒三角形 (BLACK UP-POINTING TRINANGLE)

"open sesame"

白ゴマ (WHITE SESAME DOT)

"open double-circle"

二重丸 (BULL'S EYE)

"open dot"

白点

"open circle"

白丸 (WHITE CIRCLE)

"open triangle"

白三角形 (WHITE UP-POINTING TRINANGLE)

文字列

指定した文字列（二重引用符で囲むものとする）を傍点に使用。

プロパティ : **text-shadow**

テキストスタイルを影付きに

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

[水平距離]px [垂直距離]px [ぼかし距離]px [影色]

この仕様は変更される事があります。

プロパティ：**text-align**

テキストの行揃えを指定

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"left"

横書き時は左揃え。縦書き時は上揃え。

"center"

行進行方向に対して中央揃え。

"right"

横書き時は右揃え。縦書き時は下揃え。

"justify"

行進行方向に対して両端揃え。

プロパティ：**text-vertical-align**

ブロック進行方向に対して、対応する<body>に含まれるオブジェクトの表示位置を指定。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"top"

横書き時は上揃え。縦書き時は右揃え。

備考：独自

"middle"

ページ中央揃え

備考：独自

"bottom"

横書き時は下揃え。縦書き時は左揃え。

備考：独自

プロパティ：**align**

画像の水平方向の揃え。続く文字列の回りこみは行わない。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"left"

画像の左揃え（縦書き時は上揃え）

"center"

画像の中央揃え

"right"

画像の右揃え（縦書き時は下揃え）

プロパティ：**vertical-align**

画像の垂直方向の揃えの位置

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"top"

上揃え（縦書き時は右揃え）

備考：独自

"middle"

ページ中央揃え

備考：独自

"bottom"

下揃え（縦書き時は左揃え）

備考：独自

この仕様は変更される事があります。



プロパティ : **linemode**

文字列の回り込み指定

備考 : T-Time 後方互換用

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*bool*

プロパティ : **float**

画像の左右方向の位置と、回り込みを指定。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"left"

画像を左に寄せ、続く文字列をその右側に回り込ませる。

"right"

画像を右に寄せ、続く文字列をその左側に回り込ませる。

"none"

画像の左右配置も、文字列の回り込みも行わない。

プロパティ : **letter-spacing**

文字間隔の指定。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]px*

文字間隔を数値で指定する。(単位 px)

"maximum"

文字間隔(最大) で表示する。

"big"

文字間隔(大) で表示する。

"medium"

文字間隔(中) で表示する。

"small"

文字間隔(小) で表示する。

"minimum"

文字間隔(最小) で表示する。

プロパティ : **line-height**

行の高さ(行送り)を指定する

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]px, [n]%*

行の高さ(行送り)を数値で指定する。(単位 px)

"maximum"

行の高さを(最大)で表示する。

"big"

行の高さ(大)で表示する。

"medium"

行の高さ(中)で表示する。

"small"

行の高さ(小)で表示する。

"minimum"

この仕様は変更される事があります。

行の高さ(最小) で表示する。

プロパティ : **-ttline-height**

行間を指定する

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]px*

プロパティ : **column-count**

段組み。0を指定すると「自動 (ビューワ依存)」。

備考 : 独自

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]*

0以上の整数

プロパティ : **fixed-line-char**

1行の文字数 (固定)。0を指定すると「自動 (ビューワ依存)」。

備考 : 独自

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]*

0以上の整数

プロパティ : **padding-start**

テキストブロックの字下げ

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]px*

*[n]%, [n]em*

プロパティ : **padding-end**

テキストブロック全体の底辺からのインデント

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]px*

*[n]%, [n]em*

プロパティ : **padding-before**

テキストブロックの開始方向のインデント

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]px*

*[n]%, [n]em*

プロパティ : **padding-after**

テキストブロックの進行方向のインデント

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]px*

*[n]%, [n]em*

プロパティ : **text-indent**

テキスト1行目のインデント

この仕様は変更される事があります。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[i]em*

プロパティ：**margin-before**

ページ開始方向のマージン（縦書き時には右、横書き時には上）  
プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]px*

数値で指定する。（単位 px）

*[n]%*

数値で指定する。（単位%）

"big"

余白(大) で表示する。

"medium"

余白(中) で表示する。

"small"

余白(小) で表示する。

プロパティ：**margin-after**

ページ進行方向のマージン（縦書き時には左、横書き時には右）  
プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]px*

数値で指定する。（単位 px）

*[n]%*

数値で指定する。（単位%）

"big"

余白(大) で表示する。

"medium"

余白(中) で表示する。

"small"

余白(小) で表示する。

プロパティ：**margin-start**

コンテンツ開始方向のマージン（縦書き時には上、横書き時には左）  
プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]px*

数値で指定する。（単位 px）

*[n]%*

数値で指定する。（単位%）

"big"

余白(大) で表示する。

"medium"

余白(中) で表示する。

"small"

余白(小) で表示する。

プロパティ：**margin-end**

コンテンツ進行方向のマージン（縦書き時には下、横書き時には右）

この仕様は変更される事があります。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]px*

数値で指定する。(単位 px)

*[n]%*

数値で指定する。(単位%)

"big"

余白(大) で表示する。

"medium"

余白(中) で表示する。

"small"

余白(小) で表示する。

プロパティ : **margin-left**

左マージン (絶対)

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]px,[n]%*

上マージンを数値で指定する。(単位 px または%)

"big"

余白(大) で表示する。

"medium"

余白(中) で表示する。

"small"

余白(小) で表示する。

プロパティ : **margin-top**

上マージン (絶対)

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]px,[n]%*

上マージンを数値で指定する。(単位 px または%)

*big*

余白(大) で表示する。

*medium*

余白(中) で表示する。

*small*

余白(小) で表示する。

プロパティ : **margin-right**

右マージン (絶対)

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]px,[n]%*

右マージンを数値で指定する。(単位 px または%)

"big"

余白(大) で表示する。

"medium"

余白(中) で表示する。

"small"

余白(小) で表示する。

この仕様は変更される事があります。

プロパティ：**margin-bottom**

下マージン（絶対）

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]px, [n]%*

下マージンを数値で指定する。（単位 px または%）

"big"

余白(大) で表示する。

"medium"

余白(中) で表示する。

"small"

余白(小) で表示する。

プロパティ：**background-color**

背景色

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*colorvalue*

プロパティ：**background-color-space**

背景色の色空間を指定。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"RGB"

背景色の色空間は RGB である。

"SRGB"

背景色の色空間 SRGB である。

プロパティ：**background-image**

背景画像を指定する。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*url(" . . . ")*

プロパティ：**background-music**

BGM を指定する。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*url(" . . . ")*

プロパティ：**background-music-loop**

BGM のループ有無

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*bool*

プロパティ：**writing-mode**

文字表記の方向

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"vertical-rl"

縦書き指定

備考：CSS3 Editor's Draft

この仕様は変更される事があります。

"horizontal-tb"

横書き指定

備考：CSS3 Editor's Draft

"change"

組方向をデフォルトと反対に

備考：T-Time 後方互換用

"default"

デフォルトで指定された方向にする。

プロパティ：**force-writing-mode**

**writing-mode** の設定を強制するか否か。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*bool*

プロパティ：**text-combine-rule**

縦中横の文字数指定

備考：意図的に縦中横を実施したい箇所には、本プロパティの有無に関わらず、明示的に **text-combine** プロパティを指定することを推奨する。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]*

1以上の整数

**text-combine-rule** を指定した場合、以下の文字列が縦中横の対象となる。

例えば、**text-combine-rule** の値が 2 の場合、

- ・連続する半角英数字が **text-combine-rule** で指定された値よりも少ない場合

(例)

12月 --- 「12」という文字列は2以下であるので、縦中横対象

1984年 --- 「1984」という文字列は2より大きいので、縦中横にはならない

- ・欧文アクセント記号つき文字は対象としない
- ・欧文センテンスなどのように、半角スペースを含んだ半角文字列の扱い（半角スペースを文字とみなすか否か）については、処理系に依存するとし、本仕様では言及しない。そのため、確実に縦中横を行わせたい場合は、**text-combine** プロパティを使用することを推奨する。

(例)

This is a pen.

- ・半角スペースも文字列の一部である場合：合計 14 文字のため縦中横対象外。
  - ・半角スペースが文字列の一部でない場合：is と a が縦中横対象となる。

プロパティ：**text-combine**

縦中横

備考：CSS3 Editor's Draft \*em には指定不可

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"none"

何もしない

"horizontal"

縦中横を実施

プロパティ：**window-type**

この仕様は変更される事があります。

推奨する画面の向き  
プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"portrait"  
縦長を推奨  
"landscape"  
横長を推奨

プロパティ：**force-window-type**

window-type を強制するか否か  
プロパティ値として下記の値を取ることができる。  
*bool*

プロパティ：**first-letter**

1文字目を表わす pseudo element。dropcap の指定に使用。  
備考：\*p タグを廃止し、p タグに書こうとしていたものを body セクタへ

プロパティ：**text-offset**

表示位置のオフセット。その時点で有効である値からの相対オフセットである。  
備考：T-Time 専用設定別の<offset/>タグや text-offset プロパティを持った<div>/<span>が出現した場合も、値はクリアされず、そこからの相対値になることに注意。  
プロパティ値として下記の値を取ることができる。  
*[水平距離]px [垂直距離]px*

プロパティ：**from-page-end**

テキストフィールドの一番終わりから n 行分表示  
備考：T-Time 後方互換用  
プロパティ値として下記の値を取ることができる。  
*[n]* (行数)  
何行表示するか。(単位：行)

プロパティ：**line-break**

禁則処理の有無や程度を示す。行頭禁則文字は top-prohibit-char、行末禁則文字は end-prohibit-char で指定する。  
備考：CSS3 Working Draft  
プロパティ値として下記の値を取ることができる。  
"auto"  
表示系依存の禁則処理  
"newspaper "  
新聞などの短い行向けの緩やかな禁則処理  
"normal"  
通常の禁則を適用  
"strict"  
厳しい禁則を適用  
"keep-all"  
単語の途中では改行しない  
"none"  
禁則処理無  
"run-down"

この仕様は変更される事があります。

追だし処理実施  
備考： $\beta$  の "run\_down" から変更

プロパティ：**hanging-punctuation**

ぶら下げ処理の有無を指定する。ぶら下げ対象文字は、**hanging-char** で指定する。

備考：CSS3 Working Draft

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"first"

行頭側にはみ出させる。

"last"

行末側にはみ出させる。

"allow-end"

ぶら下げ処理有

"force-end"

行末文字が対象文字の場合、枠内に収まる場合でも字間を調整して、はみ出しを行う。

"none"

ぶら下げ処理無

備考：この値が必要か確認要

プロパティ：**hanging-char**

ぶら下げ対象文字を登録する。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

ぶら下げ対象文字

プロパティ：**top-prohibit-char**

行頭禁則文字を登録する。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

行頭禁則文字

プロパティ：**end-prohibit-char**

行末禁則文字を登録する。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

行末禁則文字

プロパティ：**ruby-flag**

ルビの表示をするか否か。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*bool*

プロパティ：**force-ruby-setting**

**ruby-flag** プロパティで指定したルビの表示設定の強制を行うかどうか。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*bool*

プロパティ：**running-head-visible**

柱表示を行うか否か。

備考：独自

この仕様は変更される事があります。



プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*bool*

プロパティ：**running-head-auto-hide**

見出しのあるページで柱を自動非表示

備考：独自

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*bool*

プロパティ：**running-head-align**

柱の位置揃え

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"left"

柱を左上に表示

備考：独自

"center"

柱を中央上に表示

備考：独自

"right"

柱を右上に表示

備考：独自

プロパティ：**running-head-font-family**

柱書体を指定。フォント名が複数指定された場合は、前の物が優先される。

備考：独自

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

フォント名

プロパティ：**running-head-font-size**

柱文字サイズ

備考：独自

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]px*

プロパティ：**running-head-size-lock**

柱の文字サイズを固定

備考：独自

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*bool*

プロパティ：**running-head-color**

柱文字の色

備考：独自

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*colorvalue*

プロパティ：**running-head-shadow**

この仕様は変更される事があります。

柱の表示スタイルを影付きに

備考：T-Time 後方互換用

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[水平距離]px [垂直距離]px [ぼかし距離]px [影色]*

プロパティ：**link-color**

注釈色の指定

備考：独自

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*colorvalue*

プロパティ：**link-color-space**

注釈色の色空間の指定。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"RGB"

注釈色の色空間は RGB である。

"SRGB"

注釈色の色空間は SRGB である。

プロパティ：**visible**

見出しの表示

備考：独自

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*bool*

プロパティ：**heading-font-family**

見出し文字のフォントを指定。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*フォント名*

プロパティ：**heading-font-size**

見出し文字のサイズを指定。

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]px*

プロパティ：**height**

水平線の太さ

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]px*

*[n]em*

プロパティ：**width**

水平線の幅

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

*[n]px*

*[n]em, [n]%*

この仕様は変更される事があります。

プロパティ：**headspace**

PDA モード（画面サイズが 320x320 未満）の時の、行頭の全角スペースの圧縮

備考：T-Time 後方互換用

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"compress"

常に自動圧縮する。

"normal"

常に自動圧縮しない。

"auto"

PDA モードでは自動圧縮、パソコンモードでは自動圧縮しない。

プロパティ：**indentspace**

PDA モードの時の、行頭の字下げ／インデント量の圧縮

備考：T-Time 後方互換用

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"compress"

常に自動圧縮する。

"normal"

常に自動圧縮しない。

"auto"

PDA モードでは自動圧縮、パソコンモードでは自動圧縮しない。

プロパティ：**linespacing**

PDA モードの時の行間の圧縮

備考：T-Time 後方互換用

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"compress"

常に自動圧縮する。

"normal"

常に自動圧縮しない。

"auto"

PDA モードでは自動圧縮、パソコンモードでは自動圧縮しない。

プロパティ：**tabspacing**

PDA モードの時の、行頭のタブ幅の圧縮

備考：T-Time 後方互換用

プロパティ値として下記の値を取ることができる。

"compress"

常に自動圧縮する。

"normal"

常に自動圧縮しない。

"auto"

PDA モードでは自動圧縮、パソコンモードでは自動圧縮しない。

## 5.2 プロパティ-セレクト対応表

- 本表では、前述のプロパティの各々について、対応するセレクト（タグ）および、それらの組み合わせ

この仕様は変更される事があります。

わせについて、TTX、XMDF が対応しているかどうか、を示している。

### 5.3 表の見方

	種類	other			block								
	セレクト名	body			div			h1,h2...h9			hr		
プロパティ	プロパティ値	対応	TTX	XMDF	対応	TTX	XMDF	対応	TTX	XMDF	対応	TTX	XMDF
<b>font-family</b>													
	フォント名	○	○	○	○	○	○	○	○	△			
<b>font-style</b>													
	"normal"				○		○	○		△			
	"italic"				○			○					
	"oblique"				○			○					

- 「対応」欄には、各プロパティ値が、各セレクト名に対応しているか否かを記した。
  - 凡例
    - ◇ ○：適用可
    - ◇ （空欄）：適用不可
  
- 「TTX」および「XMDF」欄には、各プロパティと各セレクト名の組み合わせに対して、それぞれ TTX、XMDF が対応しているか否かを示した。
  - 凡例
    - ◇ ○：対応あり
    - ◇ △：代替対応
    - ◇ （空欄）：対応なし
  
- 上記表の場合：
  - body セレクト名に対して、
    - ◇ font-family は適用可、font-style は適用不可
    - ◇ font-family には、TTX, XMDF とも対応あり
  - h1,h2...h9 セレクト名に対して、
    - ◇ font-family, font-style とも、適用可
    - ◇ font-family は、TTX は対応あり、XMDF は代替対応
    - ◇ font-style は、TTX は対応なし、XMDF は代替対応
  
- 疑似要素：first-letter について
  - 疑似要素 first-letter については、本対応表には示していないが、下記の通りのセレクト名とプロパティに対応する。(TTX, XMDF とも非対応)
    - ◇ 対応セレクト名：div, h1..h9, span, em, a, td
    - ◇ 対応プロパティ：font-family, font-style, font-variant, font-size, color, color-space, filter, font-weight, text-decoration, text-shadow, text-vertical-align, line-height, text-indent, background-color, background-color-space, background-image, margin-before/start/left/top, padding-start/before, link-color, link-color-space

この仕様は変更される事があります。

プロパティ	種類 セレクト名	other			block						inline								
		body			div			h1,h2..h9			hr			span			em		
		対応	TTX	XMDF	対応	TTX	XMDF	対応	TTX	XMDF	対応	TTX	XMDF	対応	TTX	XMDF	対応	TTX	XMDF
<b>font-family</b>	フォント名	○	○	○	○	○	○	○	○	△									
<b>font-style</b>	"normal"				○		○			○				○					○
	"italic"				○				○					○					○
	"oblique"				○				○					○					○
<b>font-variant</b>	"normal"				○				○					○					○
	"small-caps"				○				○					○					○
<b>font-size</b>	[n]px	○	○		○	○	△	○	○	△				○	○			○	○
	[n]%, [n]em	○	△	○	○	○	△	○	○	△				○	○	○		○	△
	"maximum"	○	△	○	○	△	○	○	△	△				○	△	○		○	△
	"big"	○	△	○	○	△	○	○	△	△				○	△	○		○	△
	"medium"	○	△	○	○	△	○	○	△	△				○	△	○		○	△
	"small"	○	△	○	○	△	○	○	△	△				○	△	○		○	△
	"minimum"	○	△	○	○	△	○	○	△	△				○	△	○		○	△
<b>font-base</b>	"last"				○	△	○							○	△	○			
	"default"				○	○	○							○	○	○			
<b>color</b>	colorvalue	○	○	○	○	○	○	○	○	△				○	○	○		○	○
<b>color-space</b>	"RGB"	○		○	○		○	○		△				○		○		○	○
	"SRGB"	○			○			○						○		○		○	○
<b>filter</b>	"invert()"				○	○								○	○			○	○
<b>font-weight</b>	"normal"	○		○		△	○			△				○		△		○	△
	"bold"	○		○		△	○			△				○		△		○	△
	"bolder"	○		○		○	○			○				○		○		○	○
	"lighter"	○		○		○	○			○				○		○		○	○
	100	○		○		○	○			○				○		○		○	○
	200	○		○		○	○			○				○		○		○	○
	300	○		○		○	○			○				○		○		○	○
	400	○		○		△	○			△				○		△		○	△
	500	○		○		○	○			○				○		○		○	○
	600	○		○		○	○			○				○		○		○	○
	700	○		○		△	○			△				○		△		○	△
	800	○		○		○	○			○				○		○		○	○
	900	○		○		○	○			○				○		○		○	○
	"inherit"	○		○		○	○			○				○		○		○	○
<b>text-decoration</b>	"underline"				○	○	○	○	○	△				○	○	△		○	△
	"none"				○	○	○	○	○	△				○	○	△		○	△
<b>text-emphasis-style</b>	"none"				○									○		○		○	
	"filled sesame"				○	○	△							○	○	△		○	△
	"filled double-circle"				○	○	△							○	○	△		○	△
	"filled dot"				○	○	△							○	○	△		○	△
	"filled circle"				○	△	△							○	△	△		○	△
	"filled triangle"				○		△							○		△		○	△
	"open sesame"				○		△							○		△		○	△
	"open double-circle"				○		△							○		△		○	△
	"open dot"				○	○	△							○	○	△		○	△
	"open circle"				○	△	△							○	△	△		○	△
	"open triangle"				○		△							○		△		○	△
	文字列				○		△							○		△		○	△
<b>text-shadow</b>	[水平距離]px [垂直距離]px [ぼかし距離]px [影色]	○	※											○				○	
<b>text-align</b>	"left"	○	○	○	○	○	○				○			○					
	"center"	○	○	○	○	○	○				○			○					
	"right"	○	○	○	○	○	○				○			○					
	"justify"	○			○						○			○					
<b>text-vertical-align</b>	"top"	○	○																
	"middle"	○	○	○															
	"bottom"	○	○																
<b>align</b>	"left"																		
	"center"																		
	"right"																		
<b>vertical-align</b>	"top"																		
	"middle"																		
	"bottom"																		
<b>linemode</b>	bool	○	※		○	※													
<b>float</b>	"left"																		
	"right"																		
	"none"																		

フォント/文字装飾関連

揃え・回り込み

この仕様は変更される事があります。

	種類 セレクト名	other						block						inline						
		body			div			h1,h2..h9			hr			span			em			
		対応	TTX	X MDF	対応	TTX	X MDF	対応	TTX	X MDF	対応	TTX	X MDF	対応	TTX	X MDF	対応	TTX	X MDF	
字間・行間・段組み・文字数	<b>プロパティ</b>	プロパティ値																		
	<b>letter-spacing</b>																			
		[n]px	○	○		○	○		○	○						○	○		○	○
		"maximum"	○	△	○	○	△		○	△					○	△		○	△	
		"big"	○	△	○	○	△		○	△					○	△		○	△	
		"medium"	○	△	○	○	△		○	△					○	△		○	△	
		"small"	○	△	○	○	△		○	△					○	△		○	△	
		"minimum"	○	△	○	○	△		○	△					○	△		○	△	
		<b>line-height</b>																		
		[n]px, [n]%	○	○	△	○	○		○	○										
		"maximum"	○	△	○	○	△		○	△										
		"big"	○	△	○	○	△		○	△										
		"medium"	○	△	○	○	△		○	△										
		"small"	○	△	○	○	△		○	△										
		"minimum"	○	△	○	○	△		○	△										
	<b>-time-line-height</b>																			
	[n]px														○	※				
	<b>column-count</b>																			
	[n]	○	○																	
	<b>fixed-line-char</b>																			
	[n]	○	○																	
字下チンポイント	<b>padding-start</b>																			
		[n]px				○	○	△												
		[n]%, [n]em				○	○	○												
	<b>padding-end</b>																			
		[n]px				○	※	△												
		[n]%, [n]em				○	※	○												
	<b>padding-before</b>																			
		[n]px				○	△	△												
		[n]%, [n]em				○	△	○												
	<b>padding-after</b>																			
		[n]px				○	△	△												
		[n]%, [n]em				○	△	○												
	<b>text-indent</b>																			
		[l]em				○	○	○												
	マージン	<b>margin-before</b>																		
		[n]px	○		△	○	△		○	△		○	△							
		[n]%	○		△															
		"big"	○		△															
		"medium"	○		△															
		"small"	○		△															
<b>margin-after</b>																				
		[n]px	○		△	○	△		○	△		○	△							
		[n]%	○		△															
		"big"	○		△															
		"medium"	○		△															
		"small"	○		△															
<b>margin-start</b>																				
		[n]px	○		△	○	○		○	○		○	○							
		[n]%	○		△															
		"big"	○		△															
		"medium"	○		△															
		"small"	○		△															
<b>margin-end</b>																				
		[n]px	○		△	○	※		○			○								
		[n]%	○		△															
		"big"	○		△															
		"medium"	○		△															
		"small"	○		△															
<b>margin-left</b>																				
		[n]px, [n]%	○	○	△															
		"big"	○	△	△															
		"medium"	○	△	△															
		"small"	○	△	△															
<b>margin-top</b>																				
		[n]px, [n]%	○	○	△															
		big	○	△	△															
		medium	○	△	△															
		small	○	△	△															
<b>margin-right</b>																				
		[n]px, [n]%	○	○	△															
		"big"	○	△	△															
		"medium"	○	△	△															
		"small"	○	△	△															
<b>margin-bottom</b>																				
		[n]px, [n]%	○	○	△															
		"big"	○	△	△															
		"medium"	○	△	△															
		"small"	○	△	△															

この仕様は変更される事があります。

	種類 セレクタ名	other			block						inline								
		body			div			h1,h2...h9			hr			span			em		
		対応	TTX	X MDF	対応	TTX	X MDF	対応	TTX	X MDF	対応	TTX	X MDF	対応	TTX	X MDF	対応	TTX	X MDF
背景	プロパティ	プロパティ値																	
	background-color	colorvalue	○	○	○														
	background-color-space	"RGB" "SRGB"	○		○														
	background-image	url("...")	○	○	○														
	background-music	url("...")	○		○														
	background-music-loop	bool	○		○														
	writing-mode	"vertical-rl" "horizontal-tb" "change" "default"	○	○	○														
文字表記方向	force-writing-mode	bool	○		○														
	text-combine-rule	[n]	○	○															
縦中横	text-combine	"none" "horizontal"											○	○	○				
	window-type	"portrait" "landscape"	○		○														
画面の向き	force-window-type	bool	○		○														
	first-letter	text-offset											○	○					
その他の書式	from-page-end	[水平距離]px [垂直距離]px [n](行数)				○	○												
	line-break	"auto" "newspaper" "normal" "strict" "keep-all" "none" "run-down"	○		○														
禁則処理	hanging-punctuation	"first" "last" "allow-end" "force-end" "none"	○																
	hanging-char	ぶら下げ対象文字	○		○														
	top-prohibit-char	行頭禁則文字	○		○														
	end-prohibit-char	行末禁則文字	○		○														
	ルビ	ruby-flag	bool	○	○	○													
		force-ruby-setting	bool	○		○													
	注	running-head-visible	bool	○	○														
		running-head-auto-hide	bool	○	○														
		running-head-align	"left" "center" "right"	○	○	○													
		running-head-font-family	フォント名	○	○														
running-head-font-size		[n]px	○	○															
running-head-size-lock		bool	○	○															
running-head-color		colorvalue	○	○															
running-head-shadow		[水平距離]px [垂直距離]px [ぼかし距離]px [影色]	○	○															
注釈		link-color	colorvalue	○	○														
		link-color-space	"RGB" "SRGB"	○		○													
		visible	bool							○	○								
異出し		heading-font-family	フォント名	○	○														
		heading-font-size	[n]px	○	○														

この仕様は変更される事があります。

	種類 セレクト名	other			block									inline						
		body			div			h1,h2...h9			hr			span			em			
プロパティ	プロパティ値	対応	TTX	XMDF	対応	TTX	XMDF	対応	TTX	XMDF	対応	TTX	XMDF	対応	TTX	XMDF	対応	TTX	XMDF	
水平線	<b>height</b>																			
		[n]px										○		△						
		[n]em										○		○						
	<b>width</b>																			
		[n]px										○		△						
		[n]em, [n]%										○		○						
PDAモード	<b>headspace</b>																			
		"compress"	○	※																
		"normal"	○	※																
		"auto"	○	※																
	<b>indent-space</b>																			
		"compress"	○	※																
		"normal"	○	※																
		"auto"	○	※																
	<b>linespacing</b>																			
		"compress"	○	※																
		"normal"	○	※																
		"auto"	○	※																
	<b>tabspacing</b>																			
		"compress"	○	※																
		"normal"	○	※																
	"auto"	○	※																	

	種類 セレクト名	inline									その他						疑似クラス			
		a			img			mask			offset			video			a:link, a:hover, a:active,			
プロパティ	プロパティ値	対応	TTX	XMDF	対応	TTX	XMDF	対応	TTX	XMDF	対応	TTX	XMDF	対応	TTX	XMDF	対応	TTX	XMDF	
フロント/文字装飾関連	<b>color</b>																			
		colorvalue	○	△	△				○		○							○		△
	<b>color-space</b>																			
		"RGB"	○		△				○		○									
		"SRGB"	○						○											
挿入・回り込み	<b>text-decoration</b>																			
		"underline"	○																	
		"none"	○																	
	<b>align</b>																			
		"left"				○	○								○					
		"center"				○	○								○					
		"right"				○	○								○					
	<b>vertical-align</b>																			
		"top"				○		○							○					
		"middle"				○		○							○					
	"bottom"				○		○							○						
その他	<b>linemode</b>																			
		bool					○													
	<b>float</b>																			
		"left"				○	○	○							○					
		"right"				○	○	○							○					
	"none"				○	○	○							○						
<b>text-offset</b>																				
	[水平距離]px [垂直距離]px										○	○								

この仕様は変更される事があります。



## 6 仕様補足

### 6.1 ブロックタグの動作

表 4 に示すタグについては、開始タグと終了タグに挟まれた部分が独立したブロックとなる<sup>7</sup>。

表 4 独立した行となるタグ

タグ	備考
<div>	
<h1>	
<h2>	
<h3>	
<h4>	
<h5>	
<h6>	
<h7>	
<h8>	
<h9>	
<hr>	引かれる線が対象
<marquee>	
<tr>	子供要素<th>,<td>に含まれる文字列が対象

### 6.2 スタイルデータの解釈について

縦書き・横書きを切り替える際のスタイルデータの解釈に関して、以下のように定める。

border-\*, margin-\*, padding-\*については、

- ・ top/left/bottom/right…縦書きと横書きの場合で解釈が変わらない。
- ・ start/before/after/end…縦書きと横書きの場合で解釈が変わり、表 5 のようになる<sup>8</sup>。

<sup>7</sup> 開始タグの前、終了タグの後とは異なった行となる。

<sup>8</sup> CSS3 Editor's Draft で記載されている論理プロパティ(Logical Properties)を採用した。

表 5 プロパティの解釈

プロパティ	意味	横書き時解釈	縦書き時解釈
start	行の開始方向	left	top
end	行の進行方向	right	bottom
before	ブロックの開始方向	top	right
after	ブロックの進行方向	bottom	left

表 5 中の、「行の開始/進行方向」、「ブロックの開始/進行方向」については、図 7 コンテンツ/ページの進行方向を参考にされたい。

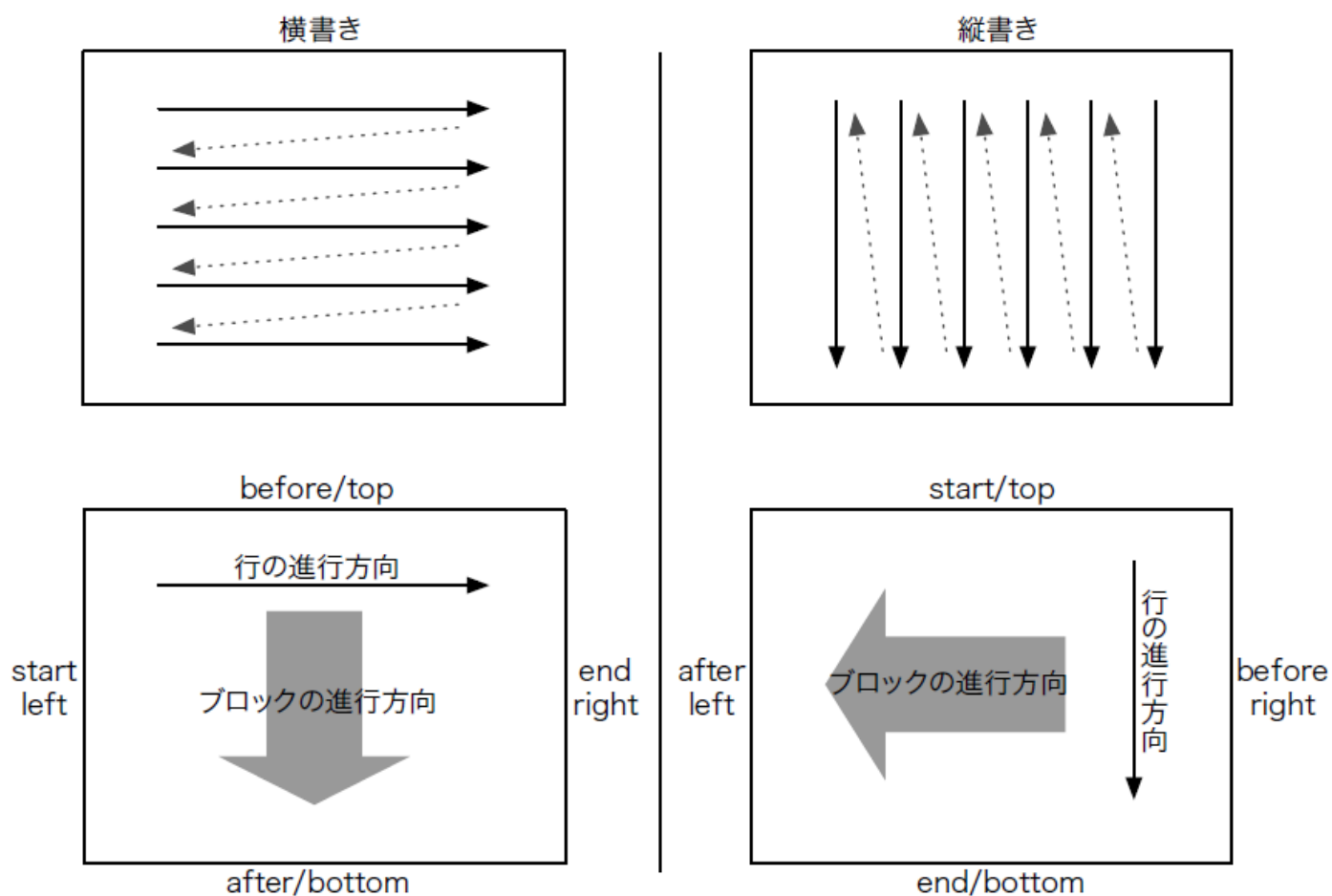


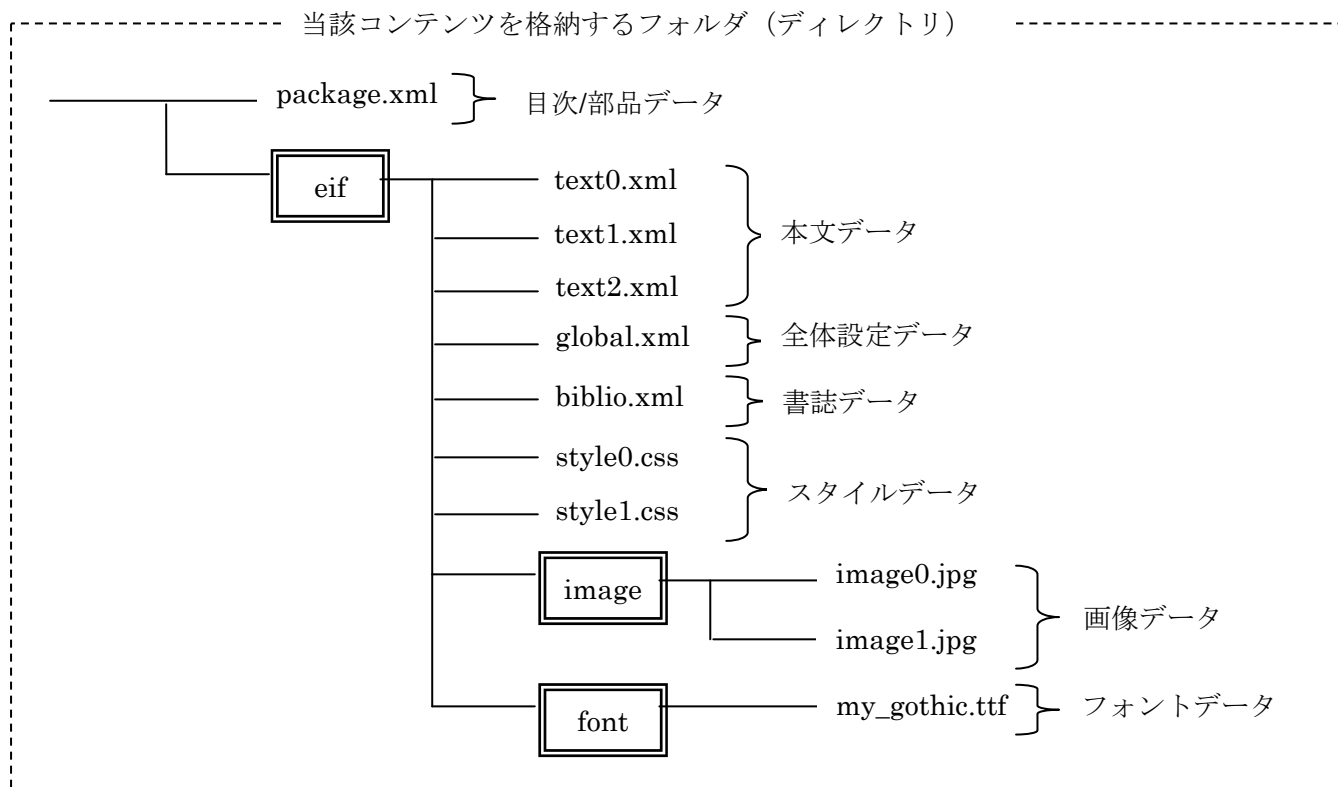
図 7 コンテンツ/ページの進行方向

### 6.3 フォルダ構成例

- 交換フォーマット仕様では、フォルダ（ディレクトリ）構成は特に規定しないが、フォルダ構成の例を図 8 フォルダ（ディレクトリ）構成の例に示す。（図中の、`package.xml` 以外のファイル名はあくまでも例である。）

この仕様は変更される事があります。

- コンテンツごとに独立したフォルダ（ディレクトリ）に置き、コンテンツの構成要素ではないファイルは置かないことを推奨する。



二重線で描かれた長方形はフォルダ（ディレクトリ）を示す。

図 8 フォルダ(ディレクトリ)構成の例

## 6.4 ベンダー固有の情報を示す方法

### 6.4.1 専用タグによる方法

<proprietary>タグは、交換を目的としないが、情報として交換フォーマットに記録しておきたい記述を行うために設けている。

主に、ベンダー固有の記述を示すタグ（たとえば、XPDF や T-Time の内部では意味があるが、他フォーマットに持って行っても意味がないような記述）を想定している。

<proprietary>タグは、全体設定データ(<global\_setting>)、および本文データの<local\_setting>の子供要素に記載でき<sup>9</sup>、以下の属性を持つ。

vendor：対象となるベンダーを示す。たとえば、“ttime”、“xpdf”などの値をとる。

記述例)

```

<proprietary vendor="ttime">
<production_rule v3 = "true"/>
</proprietary>

```

<proprietary>タグの使用は、電子書籍交換フォーマットの仕様でない独自のタグや属性を用いる場合は必須と

<sup>9</sup> ただし、対応した処理が行えるかどうかはツールに依存する。

この仕様は変更される事があります。

する。

#### 6.4.2 ネームスペースの使用による方法

ネームスペースをタグの出現時に宣言する、デフォルトネームスペースを用いて表現するなどの方法があるが、当仕様書では、特にいずれかに限って推奨するということはない。

### 6.5 文字の大きさ、文字間隔、行間隔を示す値 minimum/ small/ medium/ large/ maximum について

既存フォーマットのこのような記述は、ビューア依存で、実際の表現は異なり得るが、必ずしも数値化することが作成者の意図を表現しているとは限らないことから、電子書籍交換フォーマットでもスタイルデータの記述に残すこととした。

表 6 に、このような記述の、数値化の例を示す<sup>10</sup>。

表 6 数値化の例

文字サイズ	対応する数値
minimum	60%
small	80%
middle	100%
large	120%
maximum	140%

### 6.6 フォントサイズの記述について

フォントサイズの記述については、以下の注意が必要である。

- フォントサイズは、0 またはそれ以下は使えない。
- フォントサイズ関連の仕様で、[n]とあるところは、フォントサイズについては、1 以上の整数と解釈する<sup>11</sup>。
- 単位が em の場合は小数も可とする。
- ただし、”.5” のように、整数部は省略した書き方はしないものとする。

<sup>10</sup> このような数値化はあくまでも例であり、作成者がこのような数値を念頭においてコンテンツを作成したとは限らないが、他フォーマットへの変換時などの参考にされたい。

<sup>11</sup> それ以外の部分では、特記しない限り、[n]は 0 以上の整数と解釈する。

## 7 Appendix

### 7.1 文字の縦横回転について

コンテンツで使われている文字の中には、横書きと縦書きとで字形や位置を変える必要のあるものがある。このような文字については、処理系やビューアによって扱いが変わるため、当交換フォーマットでは、標準的な対応は定めないものとするが、異なるベンダーによるコンテンツを交換するにあたっては、注意を要する。

### 7.2 文字コード変換時に注意を要する文字について

#### 7.2.1 ASCII コードと JIS X 0201 で定義された字形が異なる文字

表 8 に示す文字は、ASCII コードと、JIS X 0201 で定義された字形が異なる。交換フォーマットでの解釈も表 7 に示す。

表 7 注意を要する文字 (1)

SJIS 値	JIS X 0201	US-ASCII	本仕様での対応
0x5C	半角円記号 を意味する。 (Unicode で 0x00A5)	半角バックslash を意味する。 (Unicode で 0x005C)	Shift_JIS の 0x5C は半角円記号を指すものとする。 Unicode の 0xA5、0x5C とともに半角円記号を指すものとし、Shift_JIS に変換する場合はともに 0x5C に変換する。
0x7E	半角オーバーライン を意味する。 (Unicode で 0x203E)	半角チルダ を意味する。 (Unicode で 0x007E)	Shift_JIS の 0x7E は半角チルダを指すものとする。 Shift_JIS と Unicode 間でのこの文字の変換をする場合は、以下のように変換する。 0x7E (Shift_JIS) ⇔ 0x007E(Unicode) の変換を正式対応とする。

#### 7.2.2 Shift\_JIS と unicode の変換にあたって、注意を要する文字

国内で多く用いられている Shift\_JIS によるエンコーディングと unicode 系のエンコーディングの間の変換を行う場合、変換が処理系によって一致しない文字がある。表 8 に、特に注意を要する文字の例を示す。

表 8 注意を要する文字 (2)

Shift_JIS 値	対応する Unicode 値		変換の例 <sup>12</sup>		
	コード値	通称	X MDF → 交換 F <sup>13</sup> (Shift_JIS → Unicode)	TTX → 交換 F (Shift_JIS → Unicode)	交換 F → TTX (Unicode → Shift_JIS)
0x815C(—)	0x2015	HORIZONTAL_BAR	0x815C → 0x2015	0x815C → 0x2014	0x2014 → 0x815C 0x2015 → 0x815C
	0x2014	EM_DASH			
0x8160(~)	0xFF5E	FULLWIDTH_TILDE	0x8160 → 0xFF5E	0x8160 → 0x301C	0xFF5E → 0x8160 0x301C → 0x8160
	0x301C	WAVE_DASH			
0x817C(—)	0xFF0D	FULLWIDTH HYPHEN-MINUS	0x817C → 0xFF0D	0x817C → 0x2212	0x2212 → 0x817C 0xFF0D → 0x817C
	0x2212	MINUS_SIGN			

注) 実証実験において、電子書籍交換フォーマット→X MDF 記述 F 電子書籍交換フォーマットの変換時には、Shift\_JIS と Unicode 間の文字コード変換は以下の理由で不要である。

- ・ 電子書籍交換フォーマットのエンコーディングは「3.4 文字コードについて」にあるように、常に UTF-8 である。
- ・ 実証実験では、電子書籍交換フォーマットから変換された X MDF の変換後のエンコーディングも変換ツールの仕様により UTF-8 固定となる。

### 7.3 使用できる色名について

- 色の指定にあたり、カラーコード以外に表 9 に挙げる色名が使用可能である。
- 大文字・小文字は区別しない。
- 使用にあたっては、「カラーコード」欄が想定している色と一致しているかを確認すること。
- カラーコードが分かっている場合には、表 9 にある色についても、カラーコードでの記述を推奨する。

<sup>12</sup> 本仕様書では、Shift\_JIS と Unicode の間で文字コードがどう変換されるべきかを規定するものではなく、この変換の例は参考である。

<sup>13</sup> Shift\_JIS でエンコーディングされた X MDF 記述フォーマットを電子書籍交換フォーマットに変換する場合。なお、「電子書籍交換フォーマット」を「交換 F」と略している。以下同様。

この仕様は変更される事があります。

表 9 使用できる色名

色名	カラーコード (hex triplet)
black	#000000
silver	#C0C0C0
gray	#808080
white	#FFFFFF
maroon	#800000
red	#FF0000
purple	#800080
fuchsia	#FF00FF
green	#008000
lime	#00FF00
olive	#808000
yellow	#FFFF00
navy	#000080
blue	#0000FF
teal	#008080
aqua	#00FFFF

## 7.4 交換フォーマット仕様 1.0 からの変更点

### 7.4.1 廃止タグ

交換フォーマット仕様 1.0 のタグのうち、廃止したタグ(または属性)は下記の通り。

表 10 廃止タグ・廃止属性

タグ	属性	属性値
img	align	
audio	align	
video	align	
default_font		
font_color_space		
bold_flag		
default_heading_font		
default_text_style		
default_ruby		
letterspacing		
linepitch		
margin		
viewtype		
default_column		
タグ	属性	属性値

この仕様は変更される事があります。

fixed_line_char		
default_text_combine		
prohibit_rule		
hanging_char		
hanging_punctuation		
top_prohibit_char		
end_prohibit_char		
interpret		
title_bar		
running_head		
view_setting		
text_setting		
production_rule		
print_property		
background		
antialias		
tab		
justification		
window	appear_center	
	appear_by_setting_size	
	fix_window	
div	dropcap	
a	type	
a	prop	
a	cmd	"search.dialog"
a	cmd	"select"
a	cmd	"select.all"
img	external	
action	restriction	
pdef	external	
area	prop	
area	cmd	"search.dialog"
area	cmd	"select"
area	cmd	"select.all"
action	cmd	"search.dialog"
action	cmd	"select"
action	cmd	"select.all"
case/nocase	app	
case/nocase	search	
case/nocase	screen	"size:"width,height"
case/nocase	mode	
case/nocase	script	
font_opacity		

この仕様は変更される事があります。



## 7.4.2 追加タグ/スタイルデータ

交換フォーマット仕様 1.1 に際し、追加したタグ(属性)、スタイルデータは下記の通り。

- タグ: case/nocase の、os 属性の属性値に、”ios”、”android”を追加
- タグ: page\_progression\_direction で指定する子要素に、”rtl”、”ltr”を追加
- タグ: td,th に、rowspan, colspan を追加
- セレクタ: body のプロパティ
  - window-type
  - force\_window-type
  - force-writing-mode
  - hanging\_char
  - top-prohibit-char
  - end-prohibit-char
- セレクタ: img、audio のプロパティ
  - vertical-align
  - float
- 疑似クラス a:link , a:hover, a:active, a:visited 追加
- 疑似要素 first-letter 追加

この仕様は変更される事があります。

フォーマット V1.1 仕様書 変更履歴

版	変更内容など
2012/2/13	V1.1 仕様書 初版
2012/5/17	(以下変更箇所のページ番号は 2012/5/17 版基準) 全体 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「空タグ」が間違って付与された箇所を修正 (div、em など)</li> <li>・ 各タグに、「子供要素として配置できる要素」欄を追加</li> <li>・ 既存フォーマットとの対応欄を一部見直し</li> <li>・ その他誤字修正</li> </ul> P5 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「全体設定データ」が「必須」となっていたのを修正</li> <li>・ スキーマファイルとフォーマット仕様の関係について明確化</li> </ul> P45～P49 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検索テーブル関連のタグの説明を追加。</li> </ul> P63 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ window に「(空タグ)」と明記</li> </ul> P64 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ proprietary の vender 属性の誤った記述 (「数値 (ピクセル値)」) を削除</li> </ul> P67 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ special_page の title 属性について以下を変更</li> <li>- required を optional へ修正</li> <li>- 属性値×cover→○ (説明文不要のため削除)</li> </ul> P72 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ text-align の説明文と各プロパティ値の説明文修正</li> <li>・ text-vertical-align の説明文と各プロパティ値の説明文修正</li> <li>・ vertical-align の説明文を修正</li> </ul> P73 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ float に"none"を追加</li> </ul> P85 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ float に"none"を追加</li> </ul> P91 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図表番号追加 (図 6)</li> </ul> P97 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ img.video へのプロパティ追加を明記</li> </ul>
2012/10/1	(以下変更箇所のページ番号は 2012/10/1 版基準) 全体 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一部のタグの属性/属性値の、既存のフォーマットとの対応についての記述を修正 (img の src 属性など)</li> <li>・ 一部のタグの子供要素の記述を修正 (external_char など)</li> <li>・ 一部のタグの属性の required/optional の別を修正 (pdef src 属性など)</li> <li>・ その他、誤字の修正、文言の統一 (「名前空間」→「ネームスペース」)</li> </ul> P6 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文データの記述例の後に、ネームスペースの記法についての記載を追加。</li> </ul> P19 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ external_char priority 属性の説明を明確化。属性値の誤りを修正。</li> </ul> P40/P45/49 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検索テーブル/辞書/コミック関連のタグの冒頭の、既存のフォーマットとの関係についての記載を修正。</li> </ul> P92 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表 6 の数値を修正</li> </ul>
2012/12/18	(以下変更箇所のページ番号は 2012/12/18 版基準) P22 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ marquee の子供要素に span が抜けていたのを追加</li> </ul>

以上

この仕様は変更される事があります。